

広 報 資 料

(市政 , 経済同時)

平成 19 年 10 月 18 日

京 都 市 産 業 観 光 局

(担当 : 商工部経済企画課 TEL 075-222-3333)

市内中小企業の景況について

(第 84 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態 , 経営動向などを把握するため , 四半期ごとに郵送によるアンケート調査として実施しています「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので , 報告します。

京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し , 経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 19 年 9 月
- ・ 調査対象期間 平成 19 年 7 月 ~ 9 月期 (3 箇月実績) / 平成 19 年 10 ~ 12 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 369 社 非製造業 431 社 計 800 社に対しアンケートを送付。514 社が回答 (回収率 64.3%)

業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	238 (46.3)	非製造業	276 (53.7)
西陣	28 (5.4)	卸売	67 (13.0)
染色	31 (6.0)	小売	66 (12.8)
印刷	28 (5.4)	情報通信	22 (4.3)
窯業	17 (3.3)	飲食・宿泊	28 (5.4)
化学	15 (2.9)	サービス	52 (10.1)
金属	18 (3.5)	建設	41 (8.0)
機械	29 (5.6)	不明	0 (0.0)
その他の製造	72 (14.0)	合 計	514 (100.0)

➤ DI = Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

増加 , 上昇などと回答した企業の企業割合から , 減少 , 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として , それより上である場合は , 上向き傾向を表す回答が多いことを示し , 下である場合は , 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

第 73 回調査から , DI の範囲を今までの「 -100 ~ 100 」から「 0 ~ 100 」に変更している。それに伴い , 過去の DI 値も今回の範囲に収まるように換算している。

・ 過去 DI の換算方法 : (過去の DI 値) × 1/2 + 50

DI 値対応表

~ 第 72 回	第 73 回 ~
-100	0
0	50
100	100

➤ 中小企業の定義

中小企業基本法に基づき , 業種別に以下のとおりに設定している。

業種	従業員規模 / 資本金規模
製造業 , その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信 , 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

この広報資料については , インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL <http://www.city.kyoto.jp/sankan/keiki/keikyo/keikyo.htm>

調査結果概要

1. 景気動向調査について

製造業、非製造業ともに、同業他社との受注競争の激化や得意先からの単価値下げ要求を背景に、景気DIは低下。全体の企業景気DIが3期連続で低下するなど、景気の足踏み状態が続く。来期の企業景気見通しDIは、製造業、非製造業ともに、設備投資効果や社員教育効果などにより上昇。

(1) 今期実績 平成 19年7月～9月期

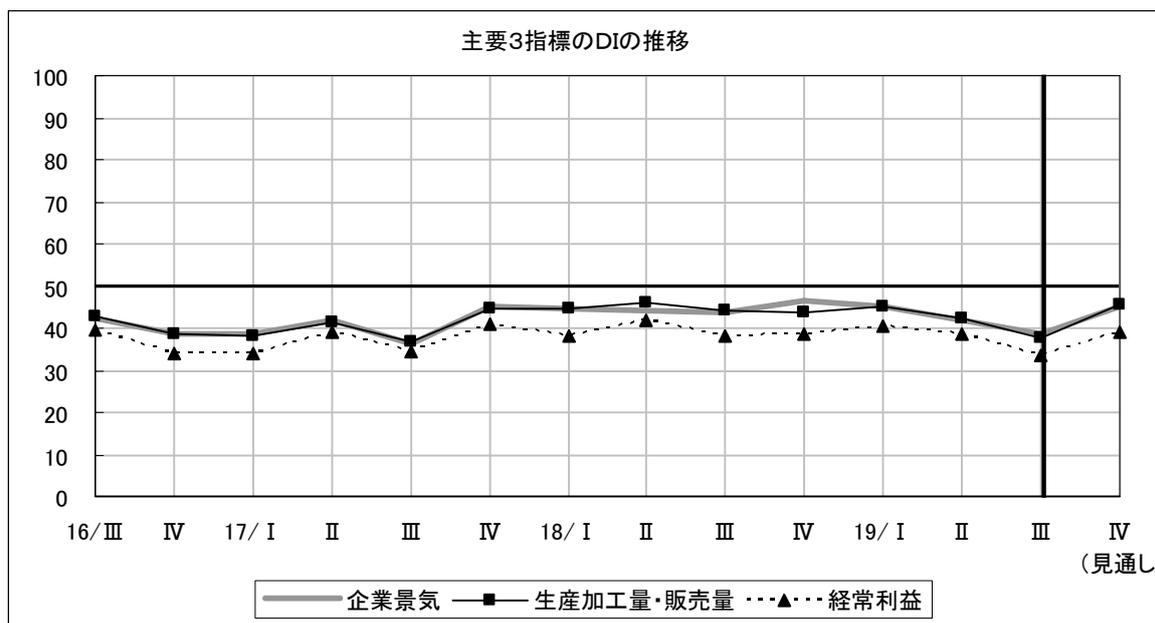
今期（平成19年7月～9月期）の全業種の主要3指標DIは、企業景気DIが38.4と前期と比較し、3.3ポイントの低下となった。生産加工量・販売量DIは、37.9で同4.5ポイント低下、経常利益DIは、33.5で同5.3ポイント低下となった。

・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	38.4 (3.3)	37.9 (4.5)	33.5 (5.3)
(製造業)	35.9 (5.3)	35.1 (7.9)	30.1 (7.6)
(非製造業)	40.7 (1.6)	40.7 (1.1)	36.5 (3.3)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。 は上昇、 は低下を示す。）

・主要3指標のDIの推移



前回に引き続き企業景気DIが低下し、3期連続の低下となった。

製造業においては、前回低下していた化学が、「設備充実によりOEM受注が増加した」（伏見区/化学）、「既存商品の改良や新規得意先の開拓により売り上げが増加した」（南区/化学）のように、設備投資効果や自社の営業努力により改善した。

しかし、前回DIが上昇の西陣、染色及び機械が、「クレジット規制により得意先の催事販売業者の業況が不振」（上京区/西陣）、「得意先の倒産や廃業により売上低下」（上京区/染色）、「原材料費高騰分を販売単価に転嫁できない」（下京区/機械）と、過量販売問題に対する規制強化、得意先の倒産、原材料相場の高止まりを背景に低下した。また、「安価な中国製品との競争で、中高級品の販売が不振」（東山区/窯業）、「大手同業他社との競争により受注が低迷」（南区/その他製造）、「インターネット上での印刷業者との競争で

受注単価が低下」(右京区/印刷),「主力得意先からの単価値下げ要求が厳しい」(南区/金属)のように、同業他社との受注競合の激化や得意先からの単価値下げ要求により、窯業、その他製造、印刷、金属も低下した影響が大きく、製造業全体としての企業景気DIは低下している。

非製造業においては、「店舗リニューアル効果により来店客が増加した」(北区/飲食・宿泊),「テレビや雑誌による宣伝効果で利用客が増加した」(左京区/飲食・宿泊)と、店舗改装効果や対外的な自社PR効果により、飲食・宿泊のDIが上昇した。反面、前回DIが上昇していた建設や情報通信が、「他府県の業者流入により受注が厳しい」(山科区/建設),「既存得意先から開発コスト削減要求が増えてきた」(上京区/情報通信)と、業者間での競合や得意先からのコスト削減要求を背景に低下した。加えて、「従業員の退職で営業力が低下し売上低迷」(伏見区/サービス),「和装製品の販売不振が続く」(下京区/卸売),「近隣の大型商業施設に客が流れ販売不振」(右京区/小売)など、対外的な営業力の低下、和装業界の低迷、近隣店舗との競争により、サービス、卸売、小売も低下したことから、非製造業全体の企業景気DIを押し下げている。

なお、観光関連についても、「来店客数は前年並みだが購買にまでつながらないケースが多い」(右京区/小売)と、個人消費の低迷により前回同様DIは低下している。

今回調査で、京都市内においては、得意先からのニーズに迅速に対応すべく設備投資を実施したことや、店舗改装や対外的なPRが奏功したことにより、化学や飲食・宿泊の企業景気DIが改善したケースが見られた。しかしながら、昨年に過量販売問題で大手呉服業者が倒産した影響が依然として残り、西陣のDIが低下し、安価な他社製品との単価競合で、窯業のDIも大きく低下した。さらに、同業他社との受注競合の激化、得意先からの単価値下げ要求、原材料相場の高止まりなどを背景に、建設、機械をはじめ、多くの業種において、受注状況や収益状況が悪化している中小零細企業が多く、景気の足踏み状態が続いている。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は、2業種、いずれも低下した業種は、10業種である。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
化学	60.0 (26.7)	57.1 (13.8)	46.7 (6.7)
飲食・宿泊	50.0 (8.3)	47.9 (5.6)	46.0 (7.1)

<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
窯業	14.7 (18.6)	17.6 (17.4)	17.6 (18.1)
西陣	19.6 (13.2)	19.6 (12.1)	20.4 (7.2)
建設	37.8 (9.8)	39.2 (4.6)	32.5 (3.2)
機械	50.0 (9.1)	51.7 (10.8)	44.8 (8.2)
その他の製造	39.4 (6.5)	36.0 (9.9)	33.8 (5.9)
情報通信	56.8 (3.9)	55.3 (1.4)	45.2 (8.4)
印刷	32.1 (3.6)	28.8 (8.7)	22.2 (6.4)
染色	32.3 (2.1)	29.0 (6.9)	26.7 (5.6)
小売	42.4 (1.1)	43.9 (0.8)	36.3 (8.6)
卸売	32.8 (0.5)	33.3 (1.4)	29.5 (4.9)

注：カッコ内は前期との差(今期マイナス前期) は上昇、 は低下を示す。

(2) 来期見通し 平成19年10月~12月期

来期(平成19年10月~12月期)の全業種の主要3指標見通しDIは、企業景気DIが45.2となり、今期と比較し、6.8ポイント上昇となった。生産加工量・販売量DIは、45.4で同7.5ポイント上昇、経常利益DIは、39.2で同5.7ポイント上昇となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	45.2 (6.8)	45.4 (7.5)	39.2 (5.7)
(製造業)	44.2 (8.3)	44.4 (9.3)	37.4 (7.3)
(非製造業)	46.1 (5.4)	46.3 (5.6)	40.9 (4.4)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期）は上昇，は低下を示す。）

製造業では、今回調査で企業景気DIが上昇していた化学が、「原油価格が7月に市場最高水準を記録しており、今後どこまで販売価格に転嫁できるか不透明」（右京区/化学）、「原材料費が3%値上がりしているが、価格転嫁できず収益性が低迷」（下京区/化学）など、原材料相場の上昇を背景に、今後の見通しについては厳しい見方をしている。反面、「印刷機器の改良により多様化する受注に対応できている」（南区/印刷）、「営業ターゲットを明確化したことで新規得意先の開拓が進んでいる」（東山区/窯業）、「加工技術力の強化で、好調な自動車関連や半導体関連業界からの受注案件は増加傾向」（伏見区/金属）のように、設備の充実、加工技術力の向上、効率的な新規開拓効果により、景況感の改善を予測する業種が多く、製造業全体の企業景気見通しDIを押し上げている。

非製造業においては、「市内の同業他社が倒産した影響で受注が増加傾向」（下京区/卸売）、「企業の人材不足により人材派遣需要が高まっている」（南区/サービス）と、同業他社の倒産に伴い得意先が増加したことや、アウトソーシング意識の高まりを背景に、卸売とサービスの来期見通しDIが上昇している。また、「単価は厳しいが、営業社員の教育により社員一人の受注件数が増加傾向」（右京区/建設）、「販売単価に伸びがない反面、新規出店・増床により売上高は増加」（北区/小売）のように、社員教育による営業力の向上や出店効果により、売上増加を見込むなど、すべての業種が景況感の改善を予測したことで、非製造業全体の企業景気見通しDIも上昇している。

国内経済では、半導体関連の在庫調整圧力が緩和され、自動車業界も比較的堅調に推移するなど、大手企業を中心に堅調な業績が維持されている。その一方で、中小零細企業は、大手企業からの単価値下げ要求や納期や品質面での競合激化により、厳しい経営を強いられている企業も多く、全国の企業倒産件数も、11箇月連続で前年同月比増加と高水準にある。

市内中小企業においても、好調な自動車業界、半導体関連業界、航空機業界からの受注件数増加の声が聞かれる。また、設備投資効果や社員教育効果などにより、景況感改善の声も聞かれる。しかしながら、原油をはじめとする原材料費相場が上昇傾向にある中、販売単価にうまく転嫁できず、業況が悪化する中小零細企業の声も多い。業者間での競争も厳しくなっており、販売単価に転嫁できる企業とできない企業の格差は続くものとみられ、本格的な景気回復基調にあるとは言えない。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は11業種、いずれも低下と予測している業種はなかった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
印刷	53.6 (21.5)	57.7 (28.9)	38.5 (16.3)
窯業	28.1 (13.4)	21.9 (4.3)	18.8 (1.2)
金属	47.1 (11.0)	52.9 (5.7)	38.2 (16.0)
西陣	30.4 (10.8)	30.8 (11.2)	25.0 (4.6)
機械	60.3 (10.3)	60.3 (8.6)	56.9 (12.1)
卸売	42.1 (9.3)	40.8 (7.5)	37.9 (8.4)
サービス	47.1 (7.9)	44.1 (6.6)	41.7 (1.1)
その他の製造	44.9 (5.5)	43.3 (7.3)	38.1 (4.3)
建設	42.7 (4.9)	45.9 (6.7)	36.3 (3.8)
小売	46.1 (3.7)	48.3 (4.4)	41.8 (5.5)
染色	33.3 (1.0)	35.0 (6.0)	31.7 (5.0)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期）は上昇，は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移(前期/今期/来期見通し)

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	41.7	38.4	45.2	42.4	37.9	45.4	38.8	33.5	39.2
製造業	41.2	35.9	44.2	43.0	35.1	44.4	37.7	30.1	37.4
非製造業	42.3	40.7	46.1	41.8	40.7	46.3	39.8	36.5	40.9

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	41.2	35.9	44.2	43.0	35.1	44.4	37.7	30.1	37.4
西陣	32.8	19.6	30.4	31.7	19.6	30.8	27.6	20.4	25.0
染色	34.4	32.3	33.3	35.9	29.0	35.0	32.3	26.7	31.7
印刷	35.7	32.1	53.6	37.5	28.8	57.7	28.6	22.2	38.5
窯業	33.3	14.7	28.1	35.0	17.6	21.9	35.7	17.6	18.8
化学	33.3	60.0	53.3	43.3	57.1	53.6	40.0	46.7	46.7
金属	38.9	36.1	47.1	44.4	47.2	52.9	41.7	22.2	38.2
機械	59.1	50.0	60.3	62.5	51.7	60.3	53.0	44.8	56.9
その他の製造	45.9	39.4	44.9	45.9	36.0	43.3	39.7	33.8	38.1
非製造業	42.3	40.7	46.1	41.8	40.7	46.3	39.8	36.5	40.9
卸売	33.3	32.8	42.1	34.7	33.3	40.8	34.4	29.5	37.9
小売	43.5	42.4	46.1	44.7	43.9	48.3	44.9	36.3	41.8
情報通信	60.7	56.8	56.8	56.7	55.3	57.9	53.6	45.2	47.6
飲食・宿泊	41.7	50.0	50.0	42.3	47.9	50.0	38.9	46.0	46.0
サービス	42.5	39.2	47.1	39.7	37.5	44.1	40.2	40.6	41.7
建設	47.6	37.8	42.7	43.8	39.2	45.9	35.7	32.5	36.3

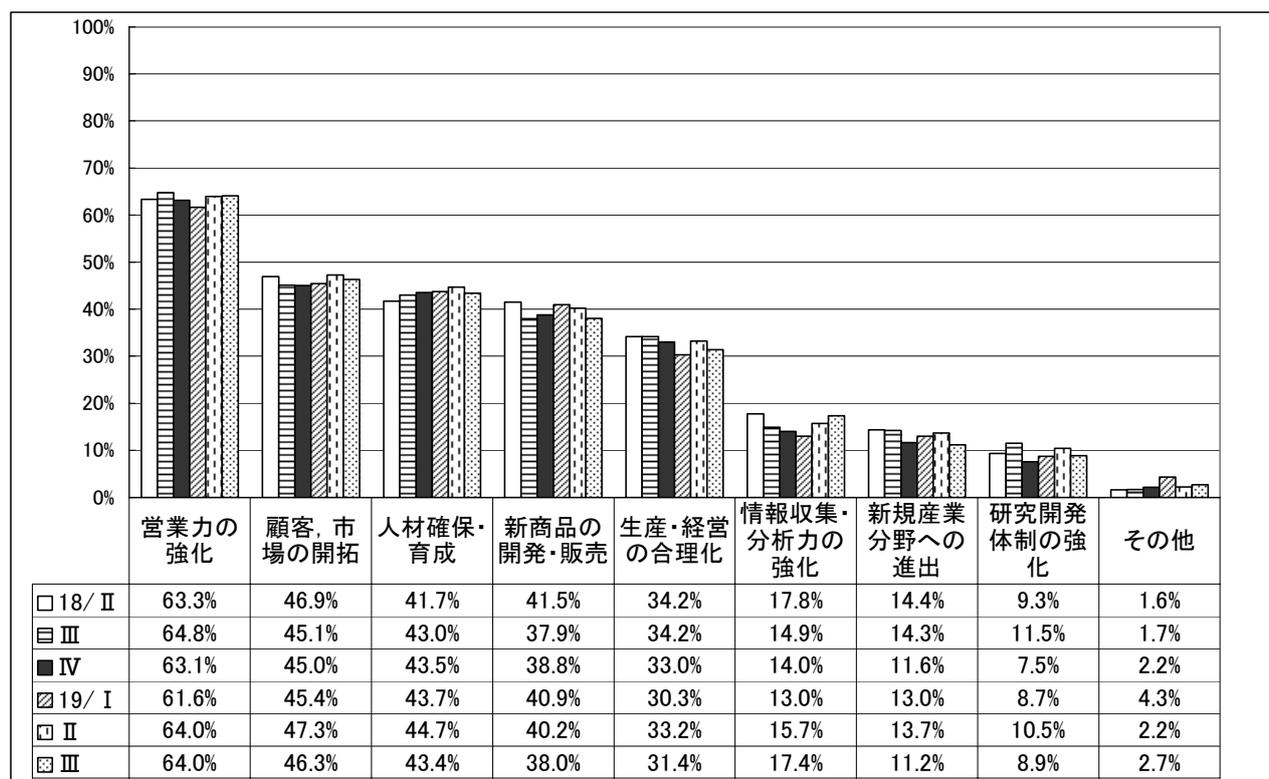
2. 当面の経営戦略について

「営業力の強化」を挙げる企業が64.0%でトップ。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が前期同様に全体の64.0%を占め、最も多くなっている。「顧客、市場の開拓」が46.3%で続き、以下「人材確保・育成」43.4%、「新商品の開発・販売」38.0%の順となっている。

「営業力の強化」が前期と変わらず、「情報収集・分析力の強化」が前期と比較し1.7ポイント増、「その他」で同0.5ポイント増となった以外は、全体的に減少した結果となった。

各項目の順位はほぼ固定されており、「人材確保・育成」が平成17年1～3月期から右肩上がりに連続して伸びていたが、2年半ぶりに減少に転じている。



この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

3. 経営上の不安要素について

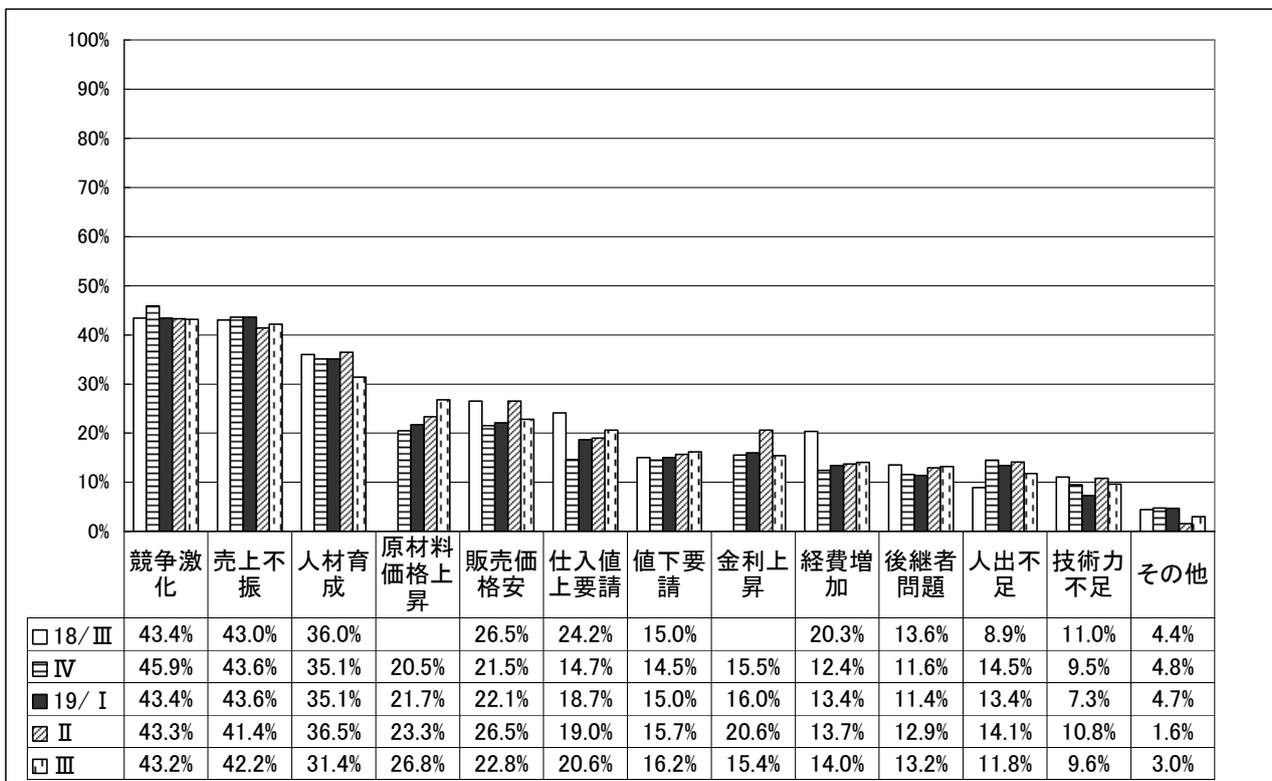
第80回調査から実施

「競争激化」が43.2%でトップ。製造業では西陣の「売上不振」が続く。

経営上の不安要素としては、「競争激化」を挙げる企業が全体の43.2%を占め、最も多くなっている。「売上不振」が42.2%で続き、以下「人材育成」31.4%、鉄、銅、ステンレスなどの「原材料価格上昇」26.8%、「販売価格安」22.8%の順となっている。

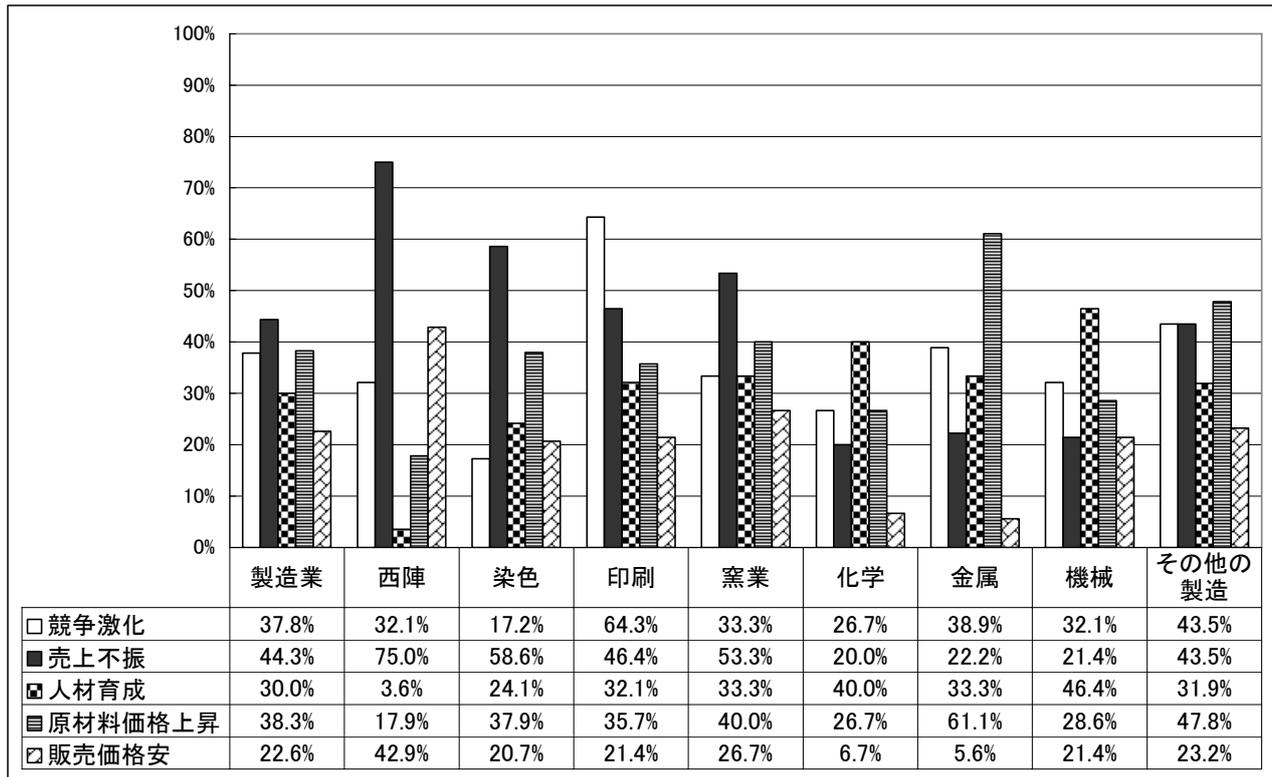
製造業では、西陣、染色、窯業で「売上不振」の割合が高く、50%を超えている。特に西陣では、75.0%と全業種で最も高くなった。金属では、「原材料価格上昇」の割合が前回同様に全業種の中で最も高く、61.1%となっている。また、印刷では「競争激化」で64.3%と、引き続き外部環境の厳しさがみられる。

非製造業では、建設、サービス、小売で「競争激化」の割合が高くなっており、卸売、小売では「売上不振」の割合が高くなっている。

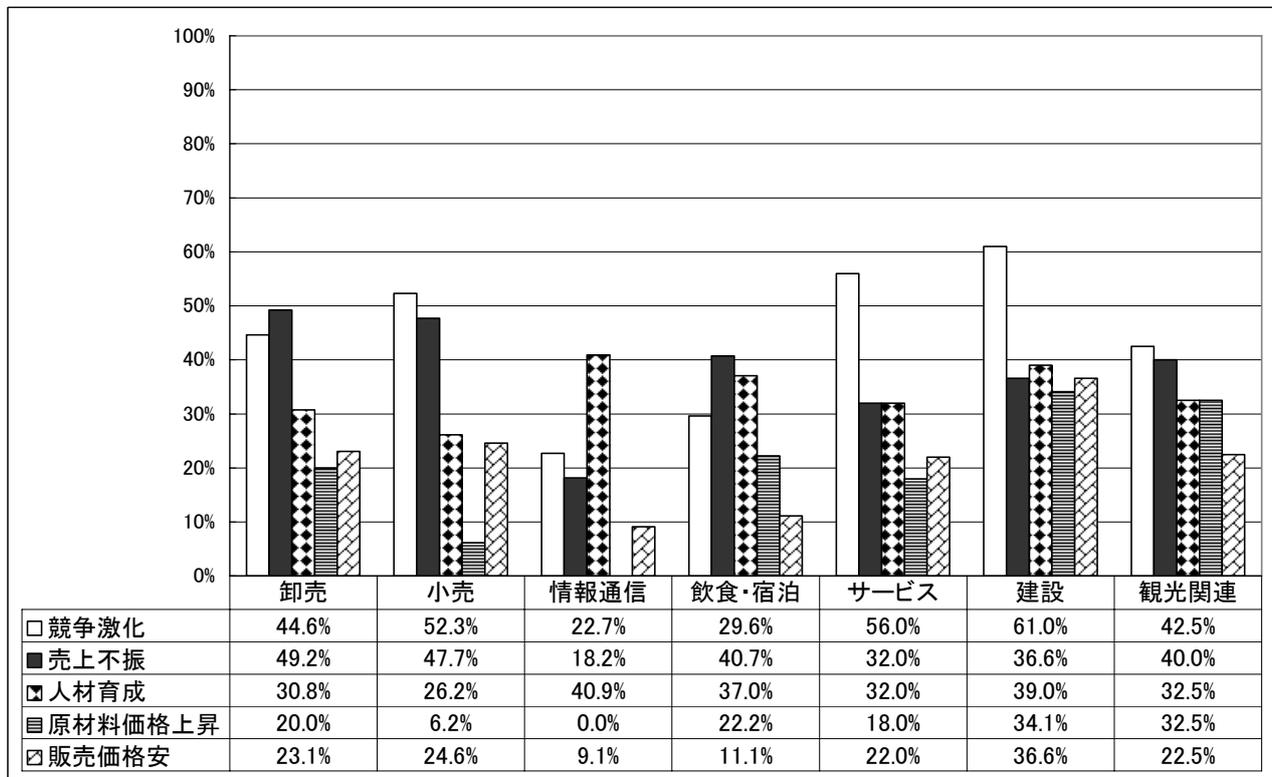


この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

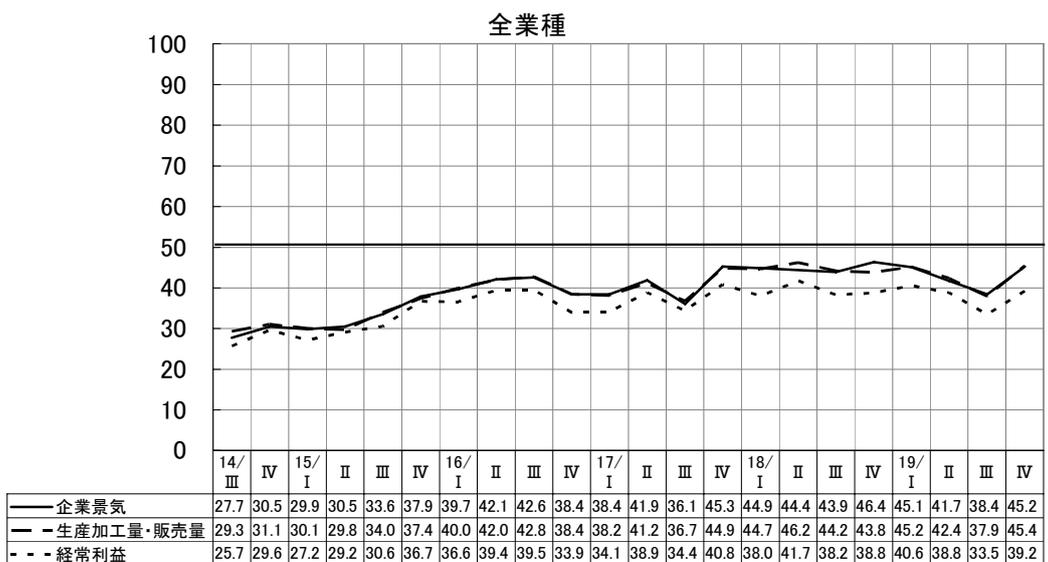


・経営上の不安要素・非製造業主要回答

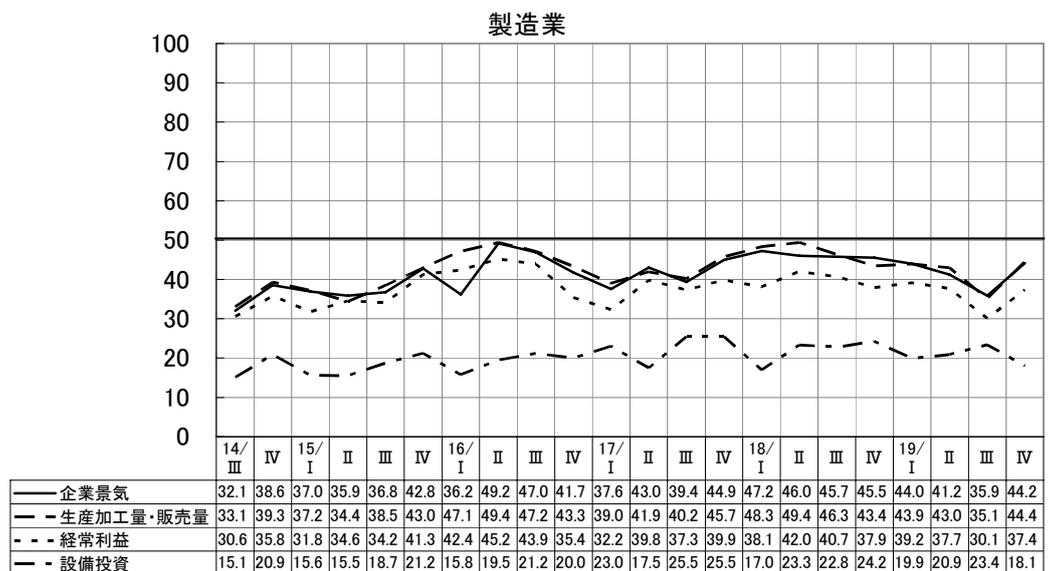


参考 1 : 業種別主要 3 指標 DI 推移

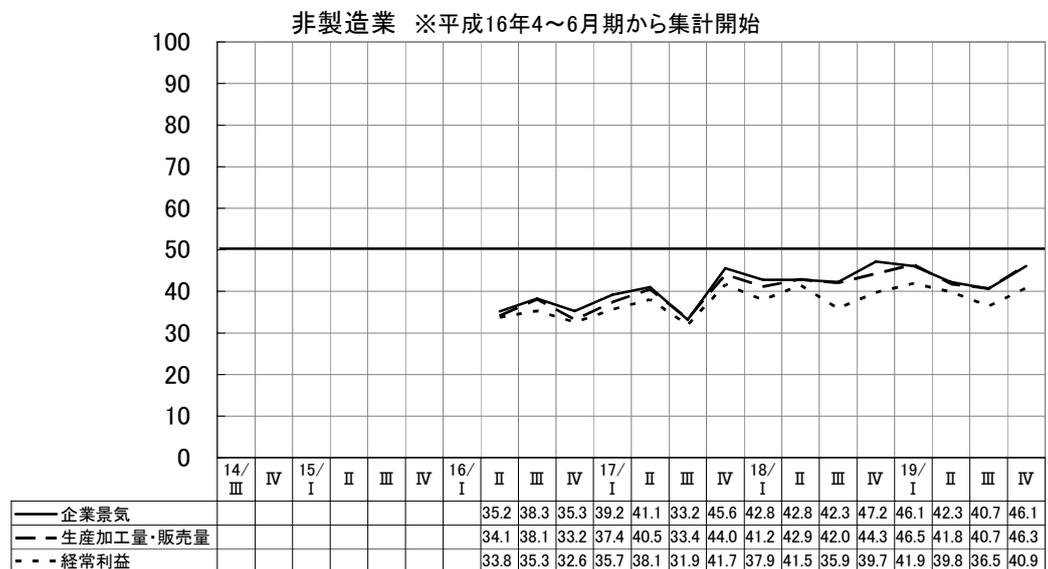
製造業は、設備投資 DI を含む。



(見通し)

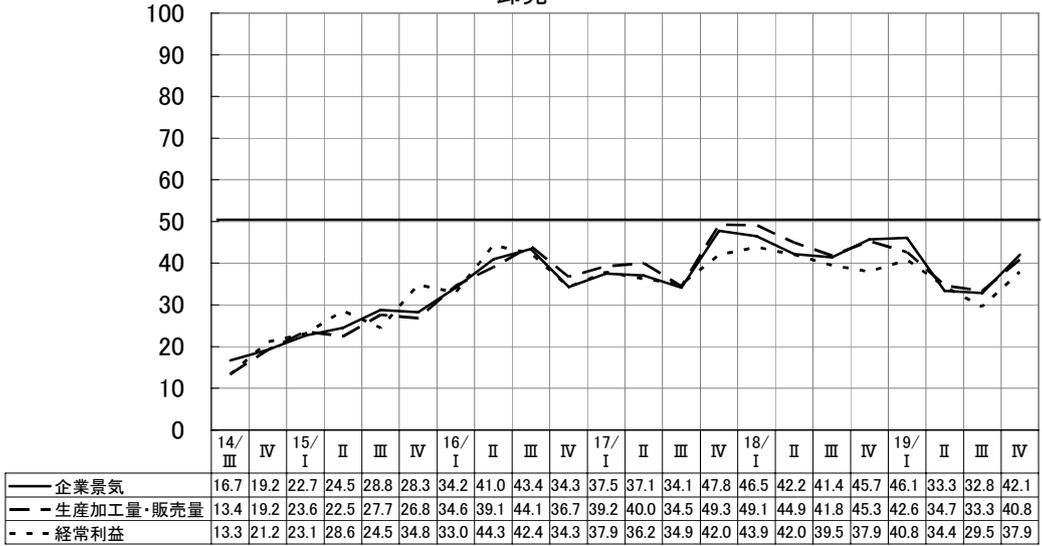


(見通し)



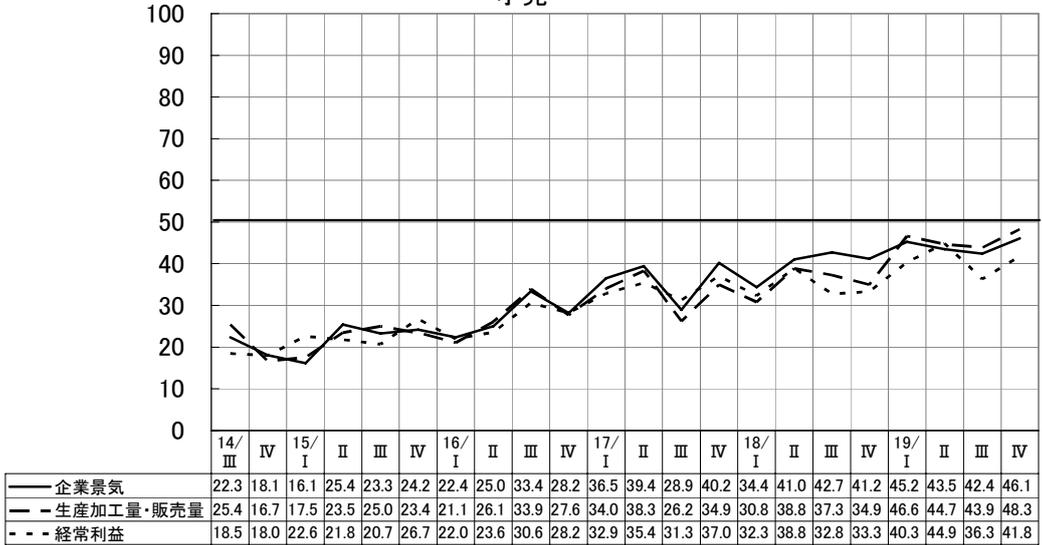
(見通し)

卸売



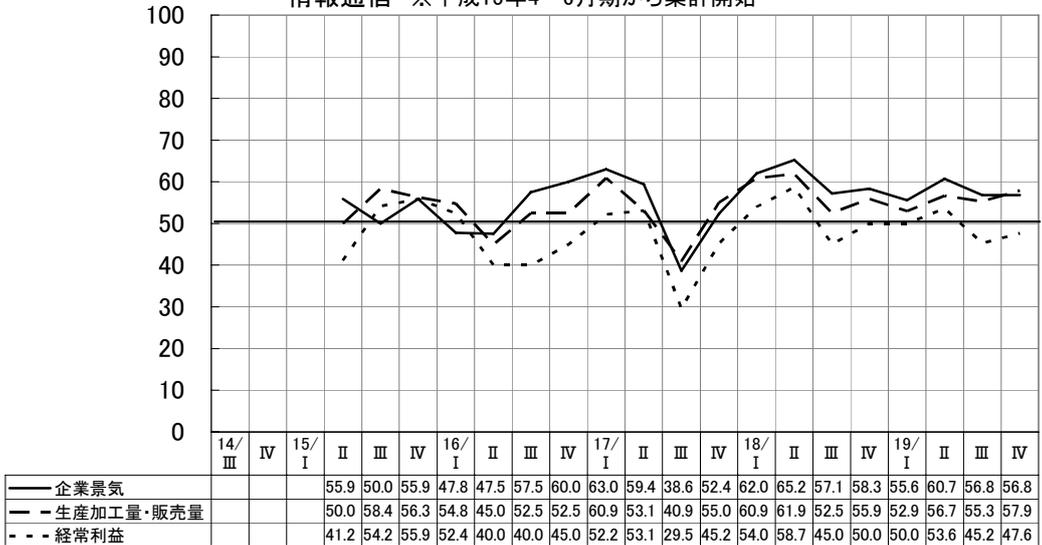
(見通し)

小売



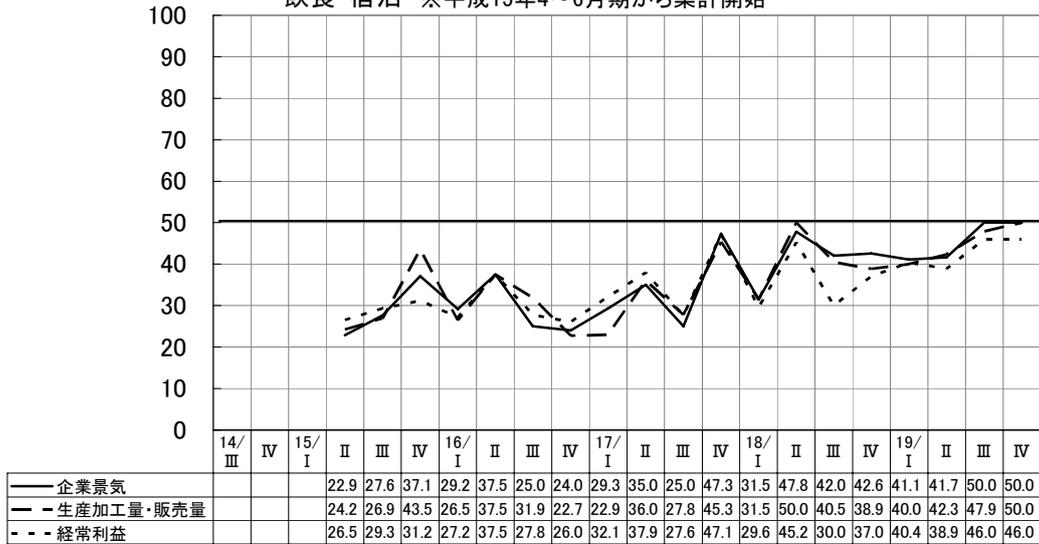
(見通し)

情報通信 ※平成15年4～6月期から集計開始



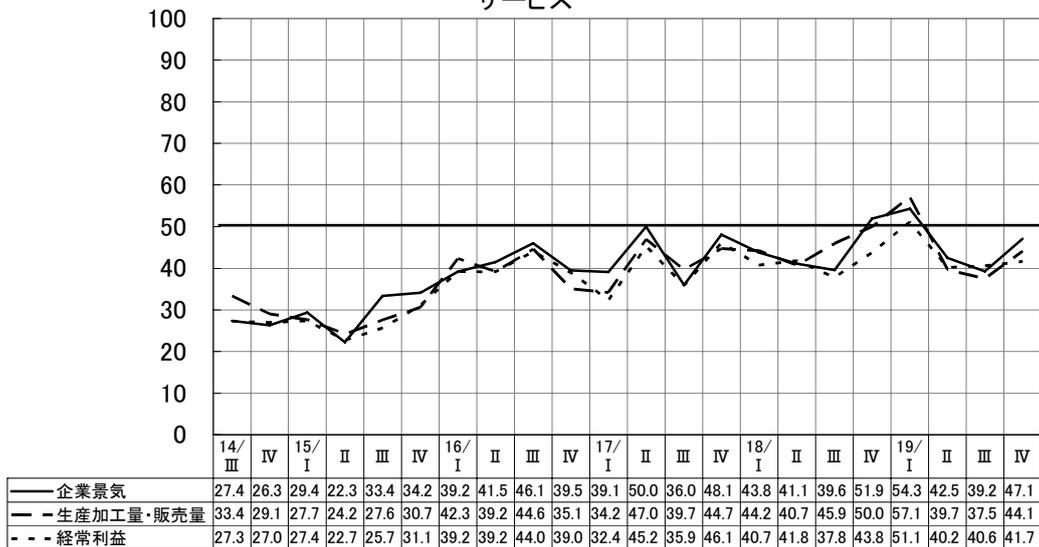
(見通し)

飲食・宿泊 ※平成15年4～6月期から集計開始



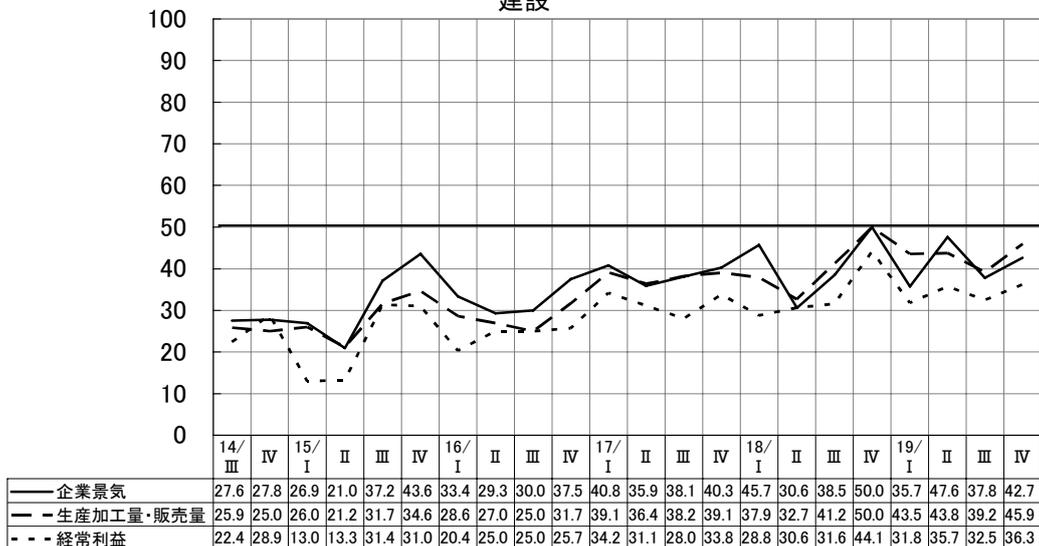
(見通し)

サービス



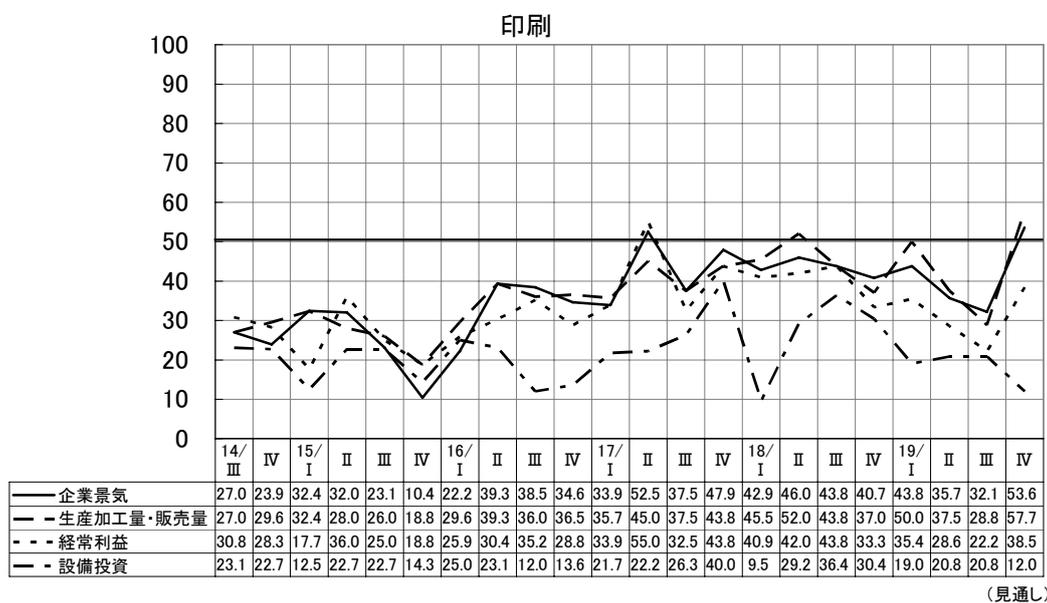
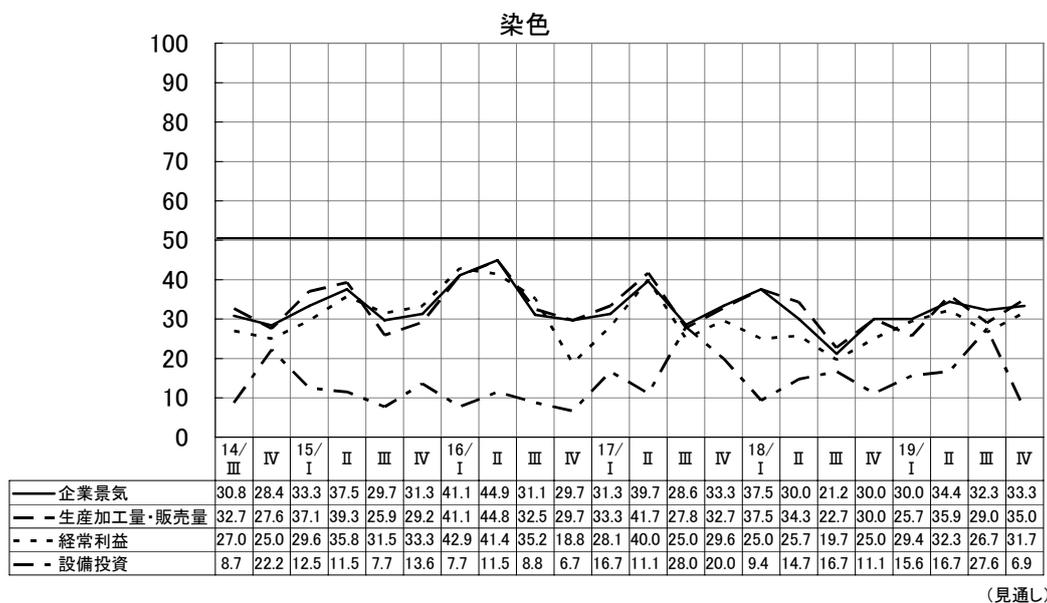
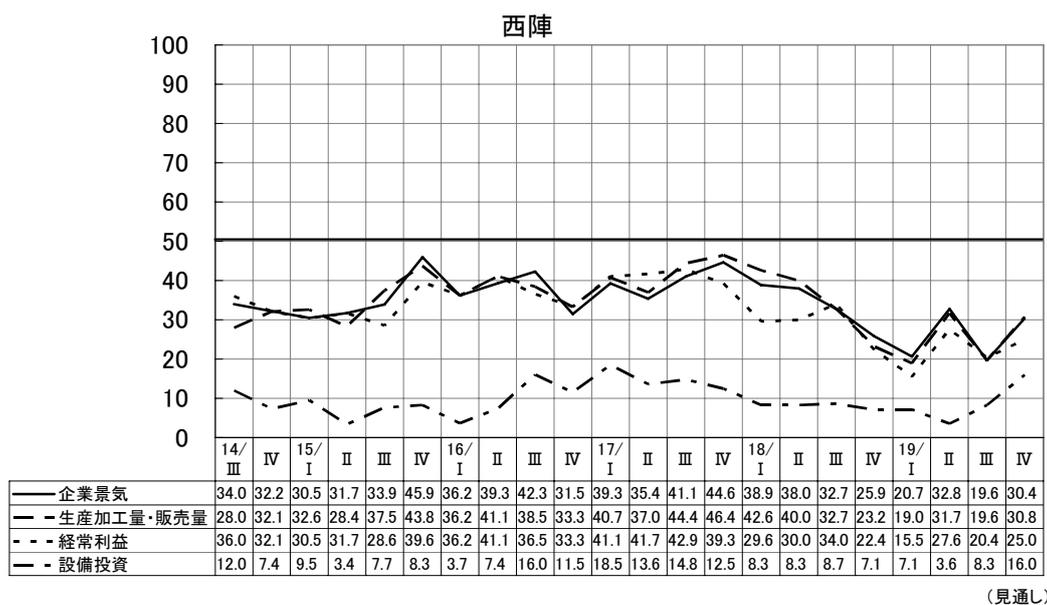
(見通し)

建設

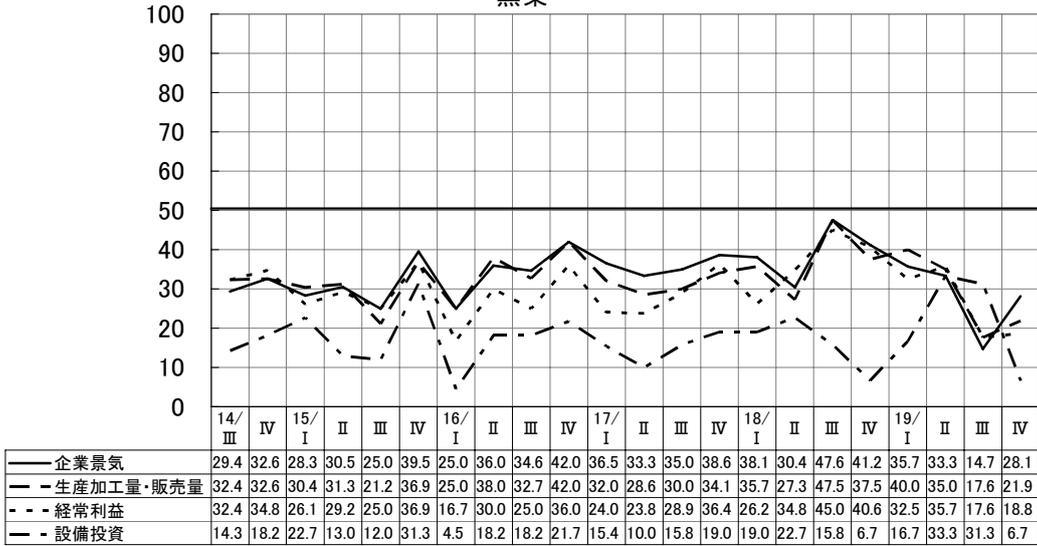


(見通し)

参考 2 : 製造業の主要 3 指標 DI・設備投資 DI 推移

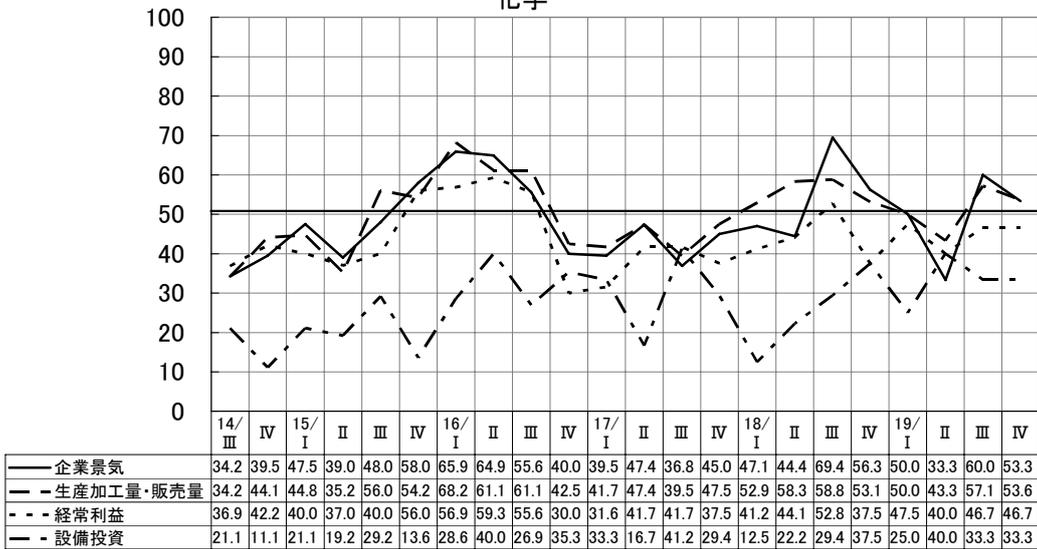


窯業



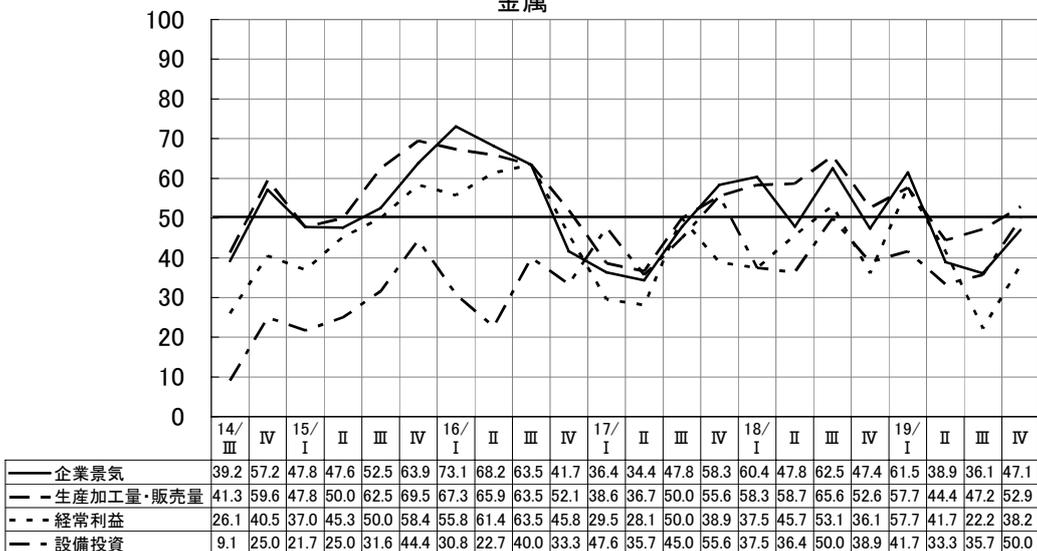
(見通し)

化学



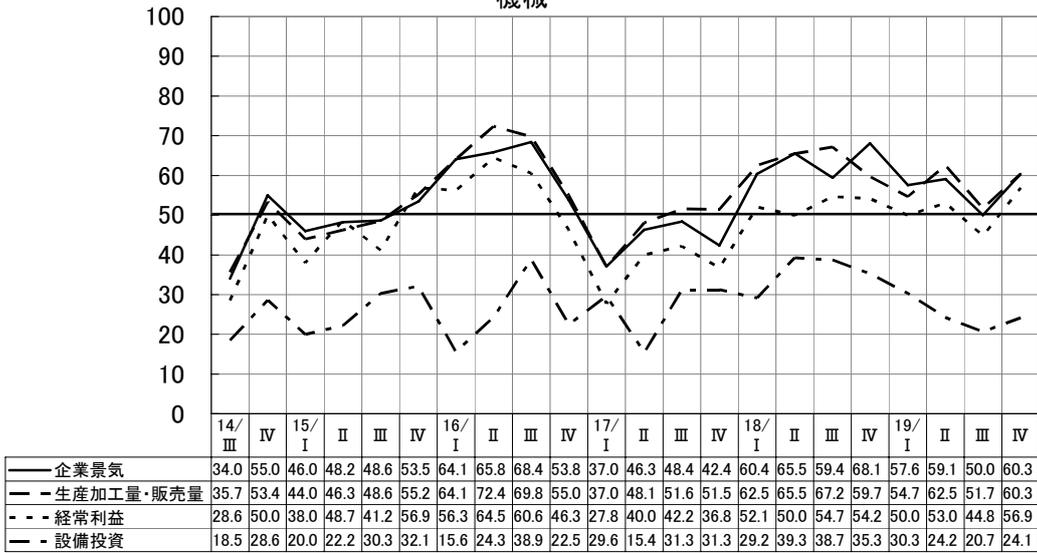
(見通し)

金属



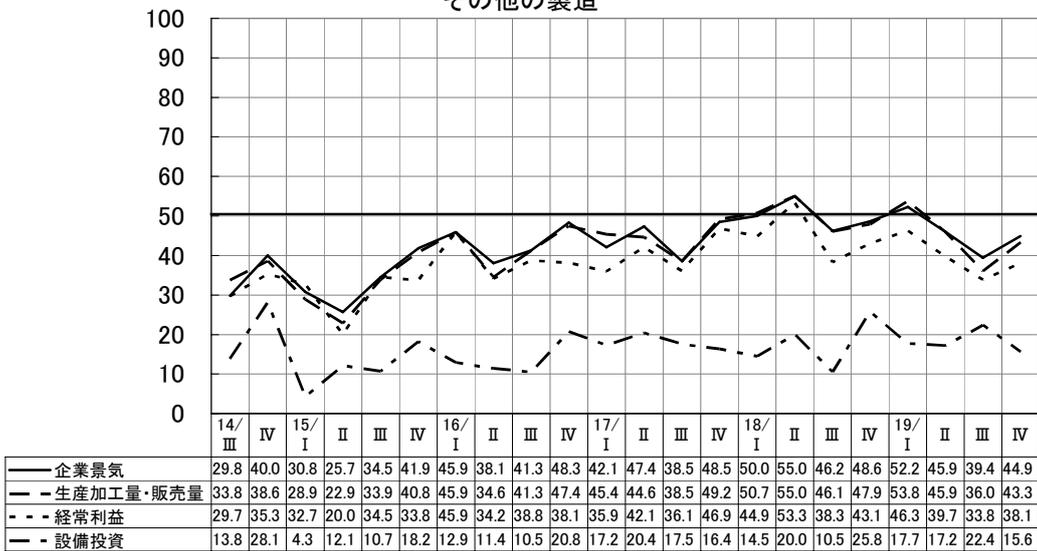
(見通し)

機械



(見通し)

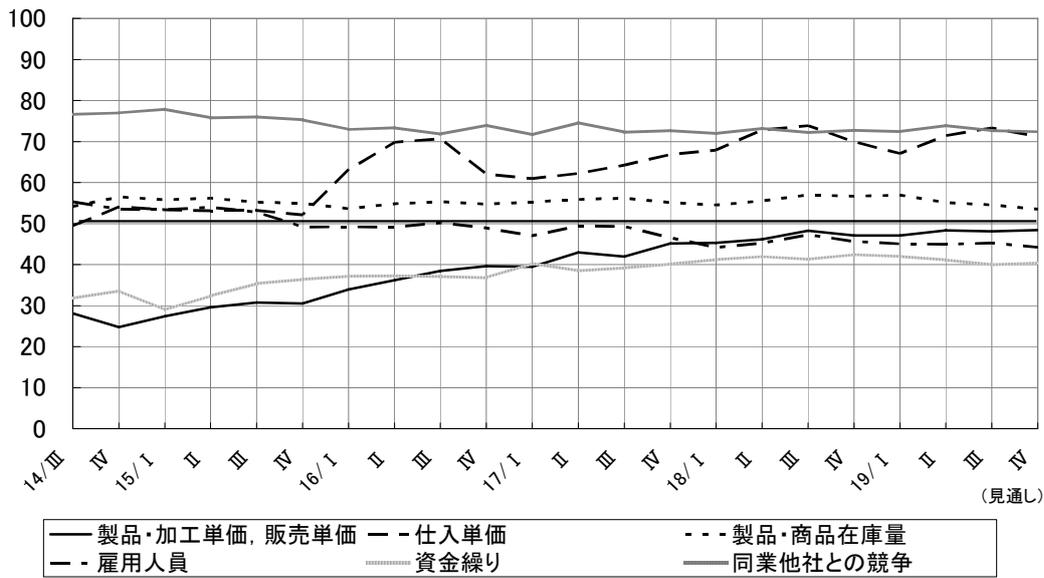
その他の製造



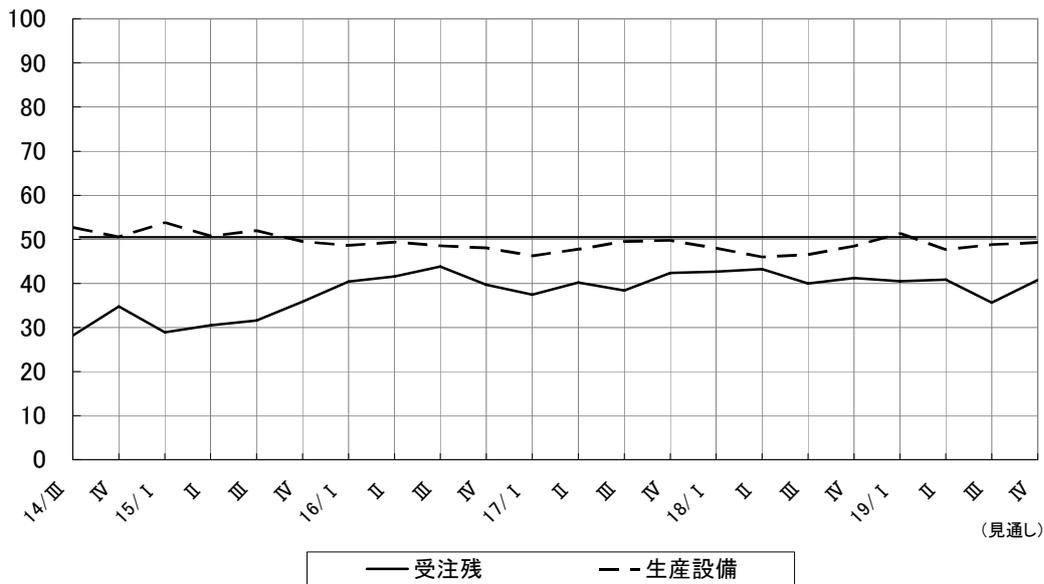
(見通し)

参考3：業種別その他 DI の推移

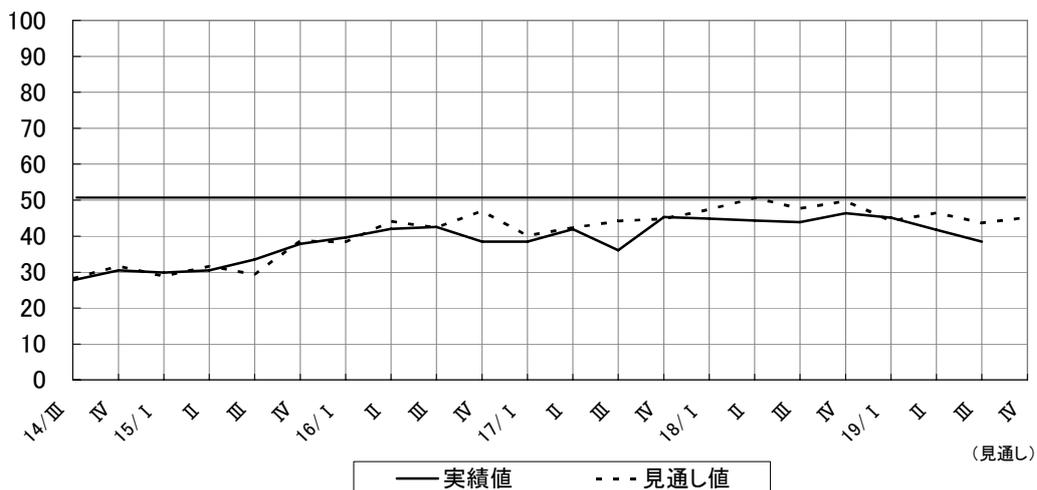
全業種



製造業全業種



参考4：企業景気 DI の予測値と実績値の比較



調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
企業景気.....	17
生産加工量・販売量.....	19
経常利益.....	21
製品・加工単価, 販売単価.....	23
仕入単価.....	25
製品・商品在庫量.....	27
雇用人員.....	29
資金繰り.....	31
同業他社との競争.....	33
受注残.....	35
生産設備.....	36
設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	40
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	42

注記：各項の表について

- ・ 「 」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DI が低下していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが 25%以上の企業群を意味する。

(1) 景気動向について

1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移(全体)

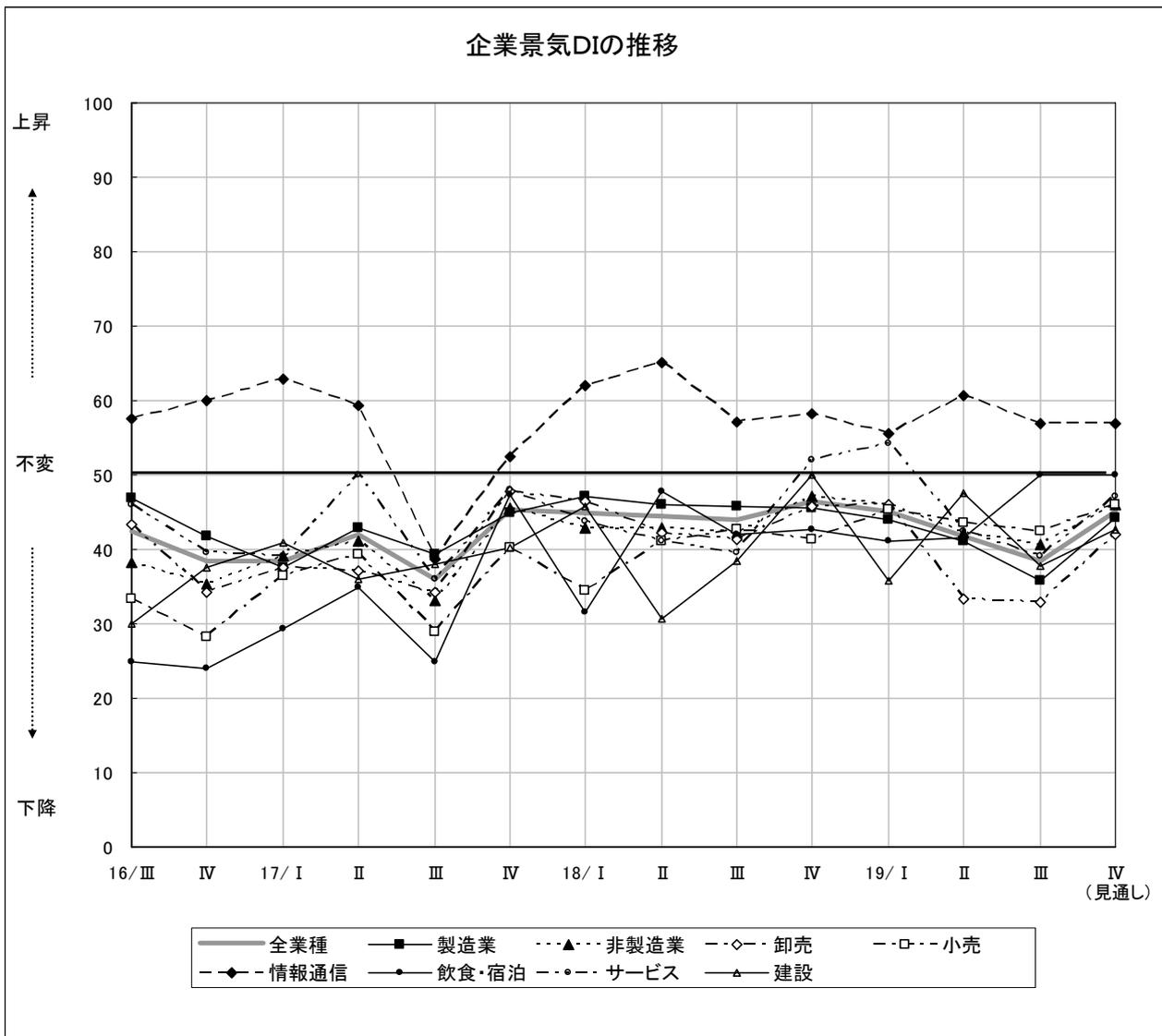


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

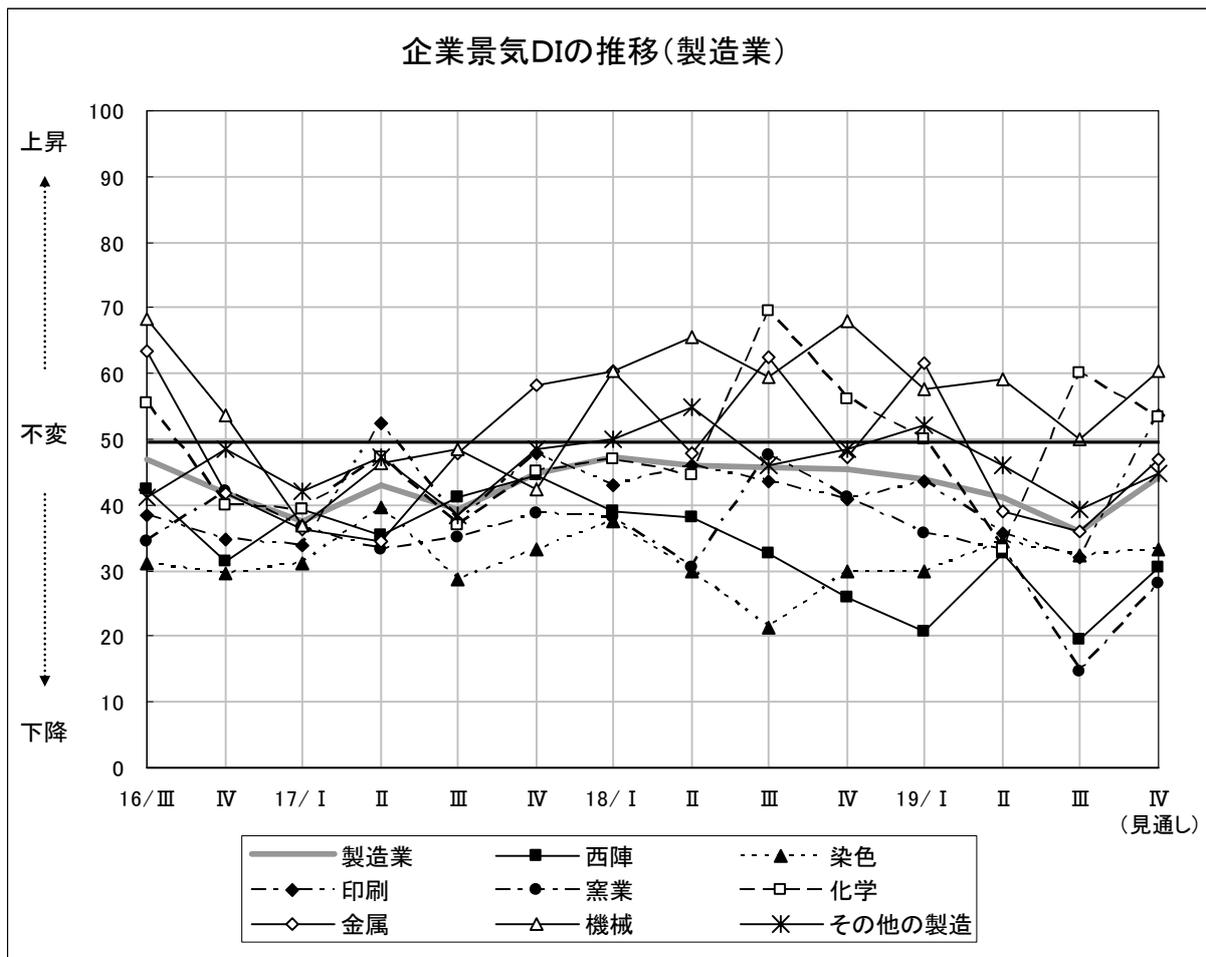


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	41.7	38.4	3.3	45.2	6.8
製造業	41.2	35.9	5.3	44.2	8.3
西陣	32.8	19.6	13.2	30.4	10.8
染色	34.4	32.3	2.1	33.3	1.0
印刷	35.7	32.1	3.6	53.6	21.5
窯業	33.3	14.7	18.6	28.1	13.4
化学	33.3	60.0	26.7	53.3	6.7
金属	38.9	36.1	2.8	47.1	11.0
機械	59.1	50.0	9.1	60.3	10.3
その他の製造	45.9	39.4	6.5	44.9	5.5
非製造業	42.3	40.7	1.6	46.1	5.4
卸売	33.3	32.8	0.5	42.1	9.3
小売	43.5	42.4	1.1	46.1	3.7
情報通信	60.7	56.8	3.9	56.8	0.0
飲食・宿泊	41.7	50.0	8.3	50.0	0.0
サービス	42.5	39.2	3.3	47.1	7.9
建設	47.6	37.8	9.8	42.7	4.9
観光関連	44.4	42.0	2.4	56.0	14.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移(全体)

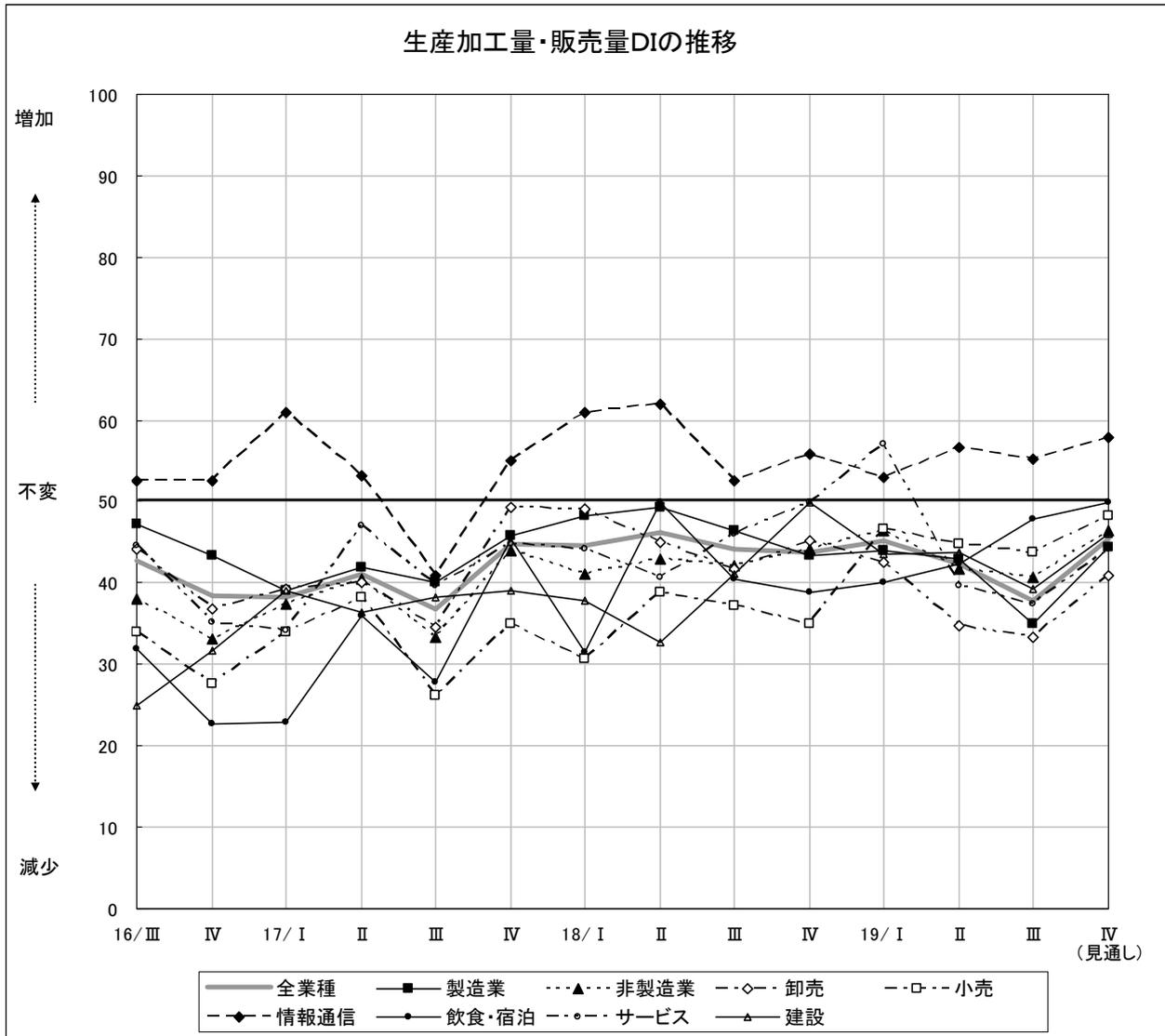


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

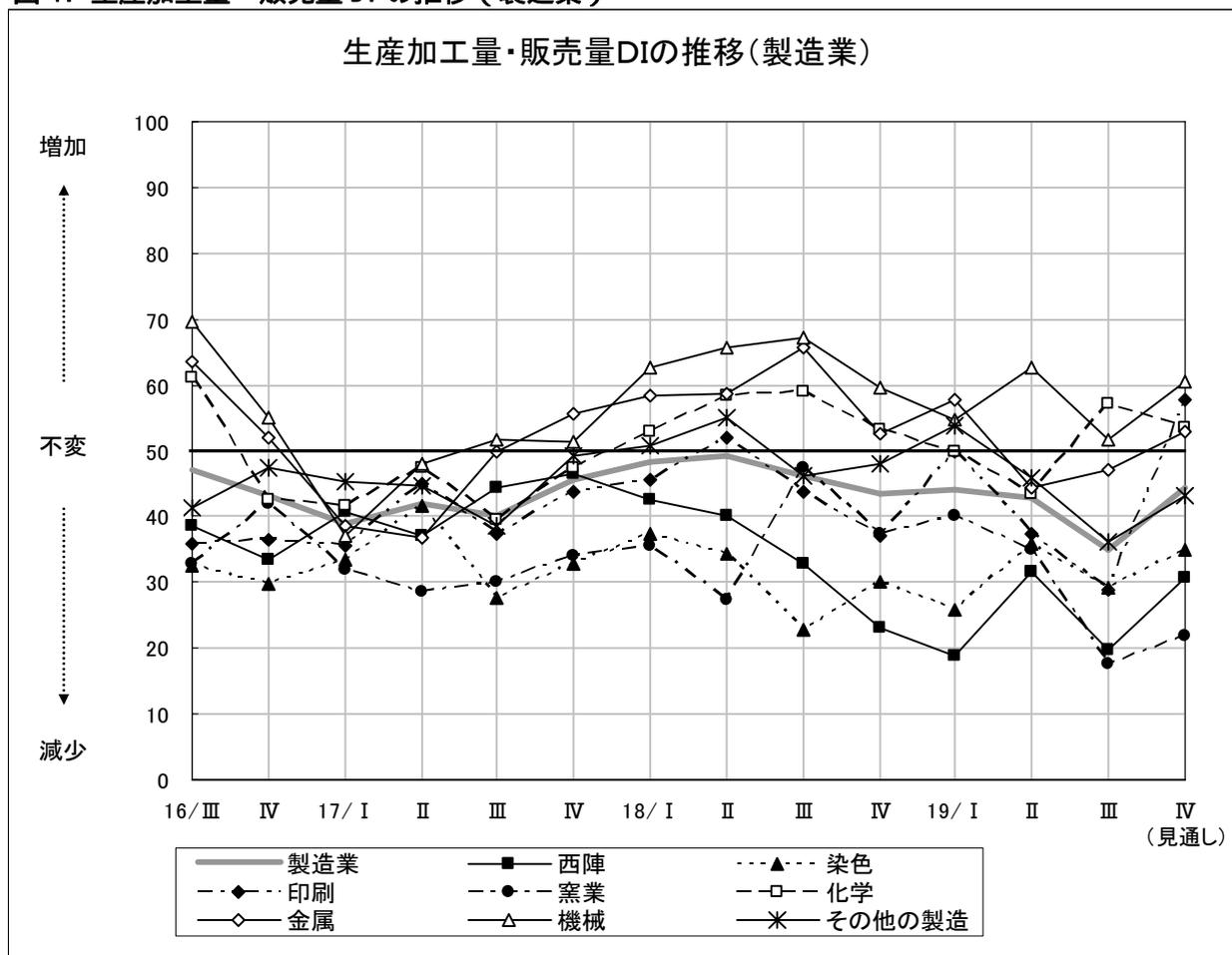


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	42.4	37.9	4.5	45.4	7.5
製造業	43.0	35.1	7.9	44.4	9.3
西陣	31.7	19.6	12.1	30.8	11.2
染色	35.9	29.0	6.9	35.0	6.0
印刷	37.5	28.8	8.7	57.7	28.9
窯業	35.0	17.6	17.4	21.9	4.3
化学	43.3	57.1	13.8	53.6	3.5
金属	44.4	47.2	2.8	52.9	5.7
機械	62.5	51.7	10.8	60.3	8.6
その他の製造	45.9	36.0	9.9	43.3	7.3
非製造業	41.8	40.7	1.1	46.3	5.6
卸売	34.7	33.3	1.4	40.8	7.5
小売	44.7	43.9	0.8	48.3	4.4
情報通信	56.7	55.3	1.4	57.9	2.6
飲食・宿泊	42.3	47.9	5.6	50.0	2.1
サービス	39.7	37.5	2.2	44.1	6.6
建設	43.8	39.2	4.6	45.9	6.7
観光関連	43.8	41.3	2.5	54.8	13.5

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移（全体）

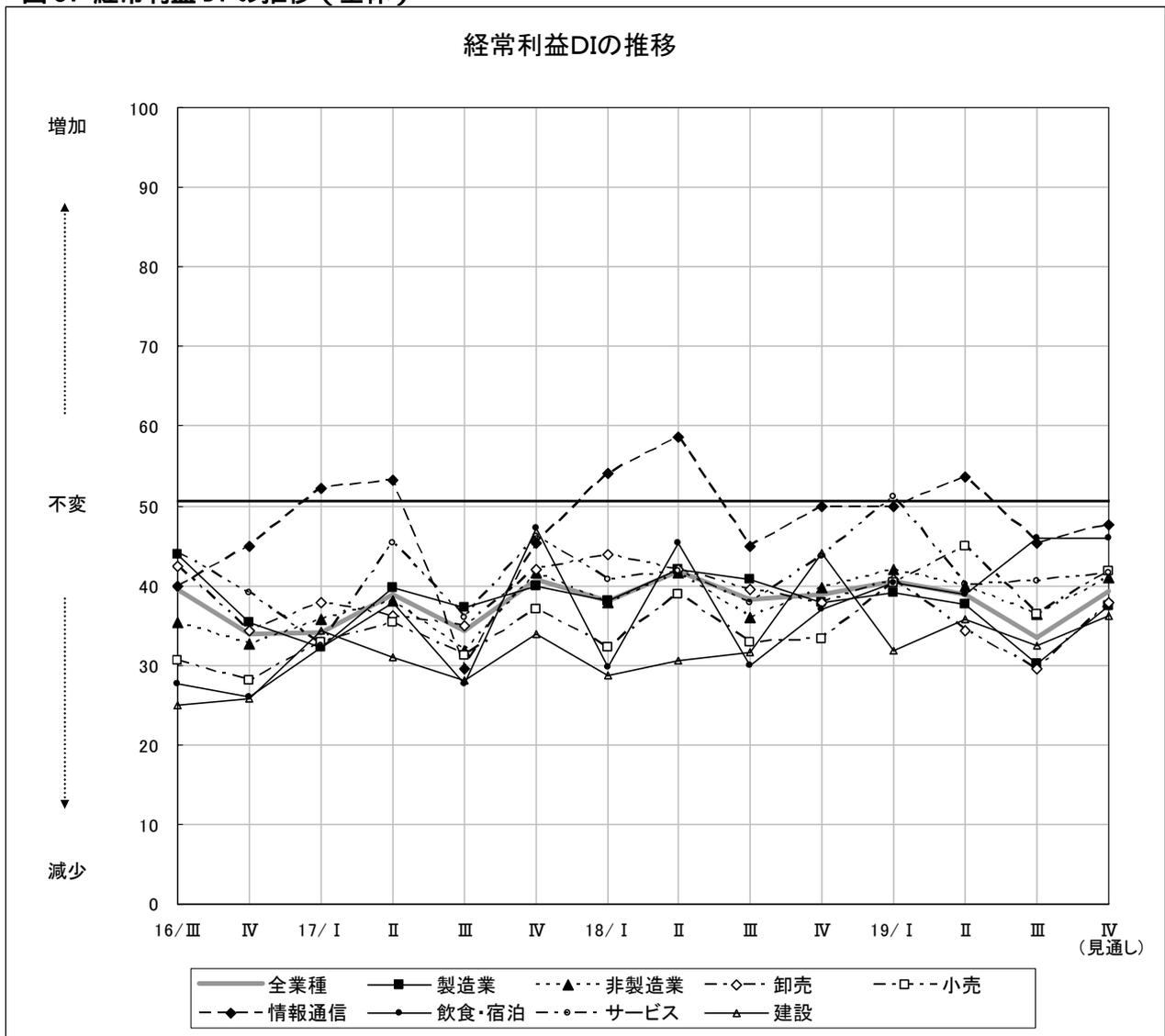


図 6. 経常利益DIの推移（製造業）

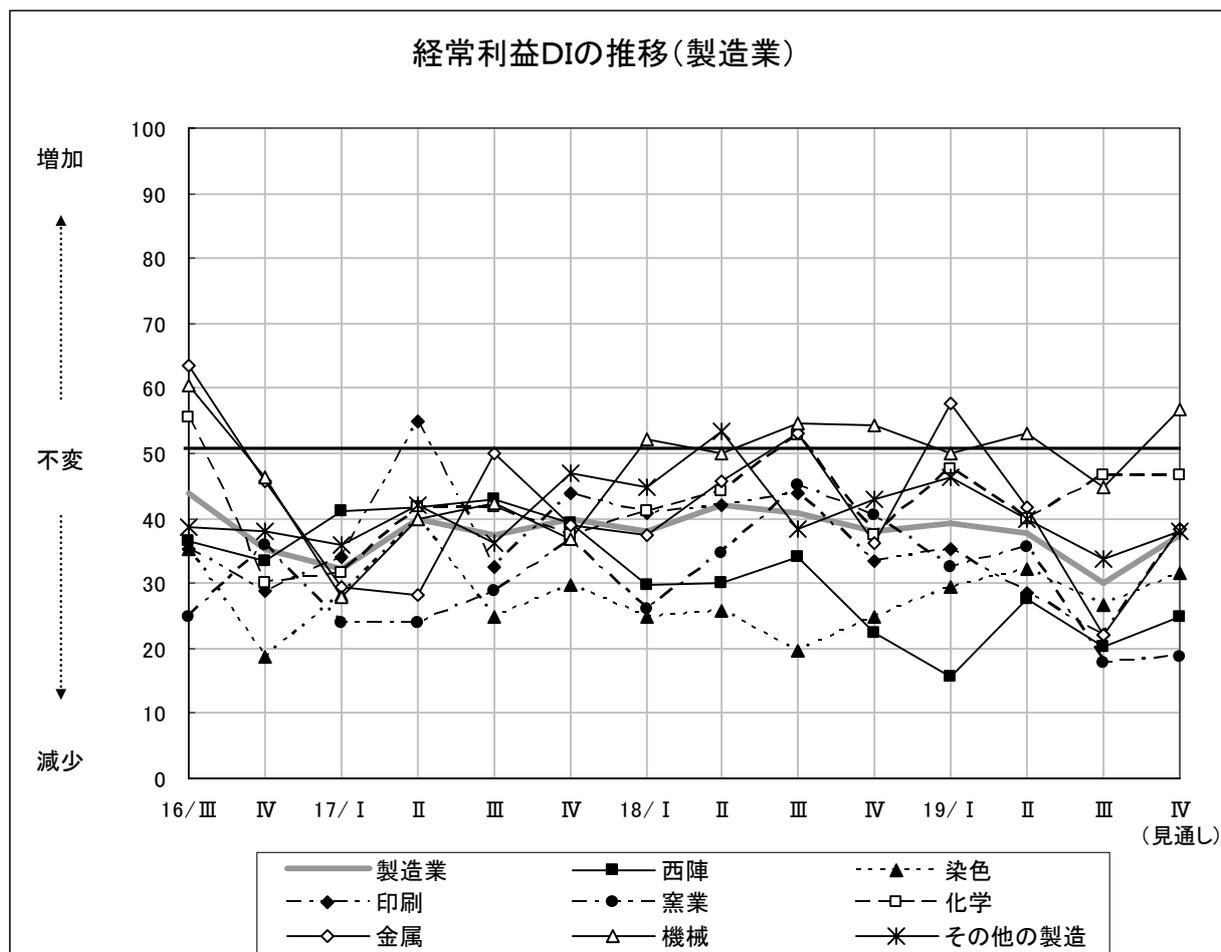


表 3. 経常利益DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	38.8	33.5	5.3	39.2	5.7
製造業	37.7	30.1	7.6	37.4	7.3
西陣	27.6	20.4	7.2	25.0	4.6
染色	32.3	26.7	5.6	31.7	5.0
印刷	28.6	22.2	6.4	38.5	16.3
窯業	35.7	17.6	18.1	18.8	1.2
化学	40.0	46.7	6.7	46.7	0.0
金属	41.7	22.2	19.5	38.2	16.0
機械	53.0	44.8	8.2	56.9	12.1
その他の製造	39.7	33.8	5.9	38.1	4.3
非製造業	39.8	36.5	3.3	40.9	4.4
卸売	34.4	29.5	4.9	37.9	8.4
小売	44.9	36.3	8.6	41.8	5.5
情報通信	53.6	45.2	8.4	47.6	2.4
飲食・宿泊	38.9	46.0	7.1	46.0	0.0
サービス	40.2	40.6	0.4	41.7	1.1
建設	35.7	32.5	3.2	36.3	3.8
観光関連	40.0	40.0	0.0	46.0	6.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

4. 製品・加工単価，販売単価

図7. 製品・加工単価，販売単価DIの推移（全体）

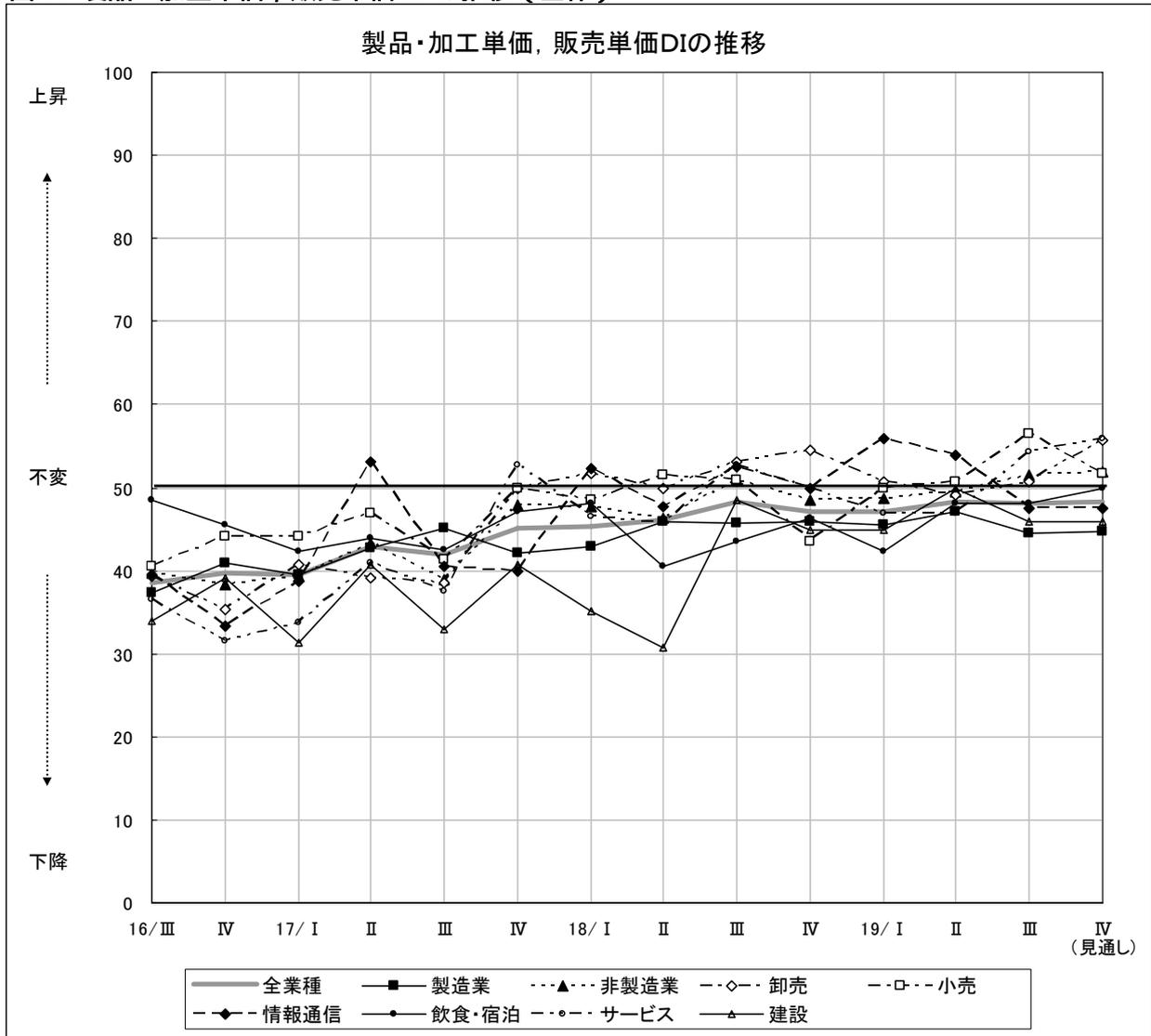


図 8. 製品・加工単価，販売単価DIの推移（製造業）

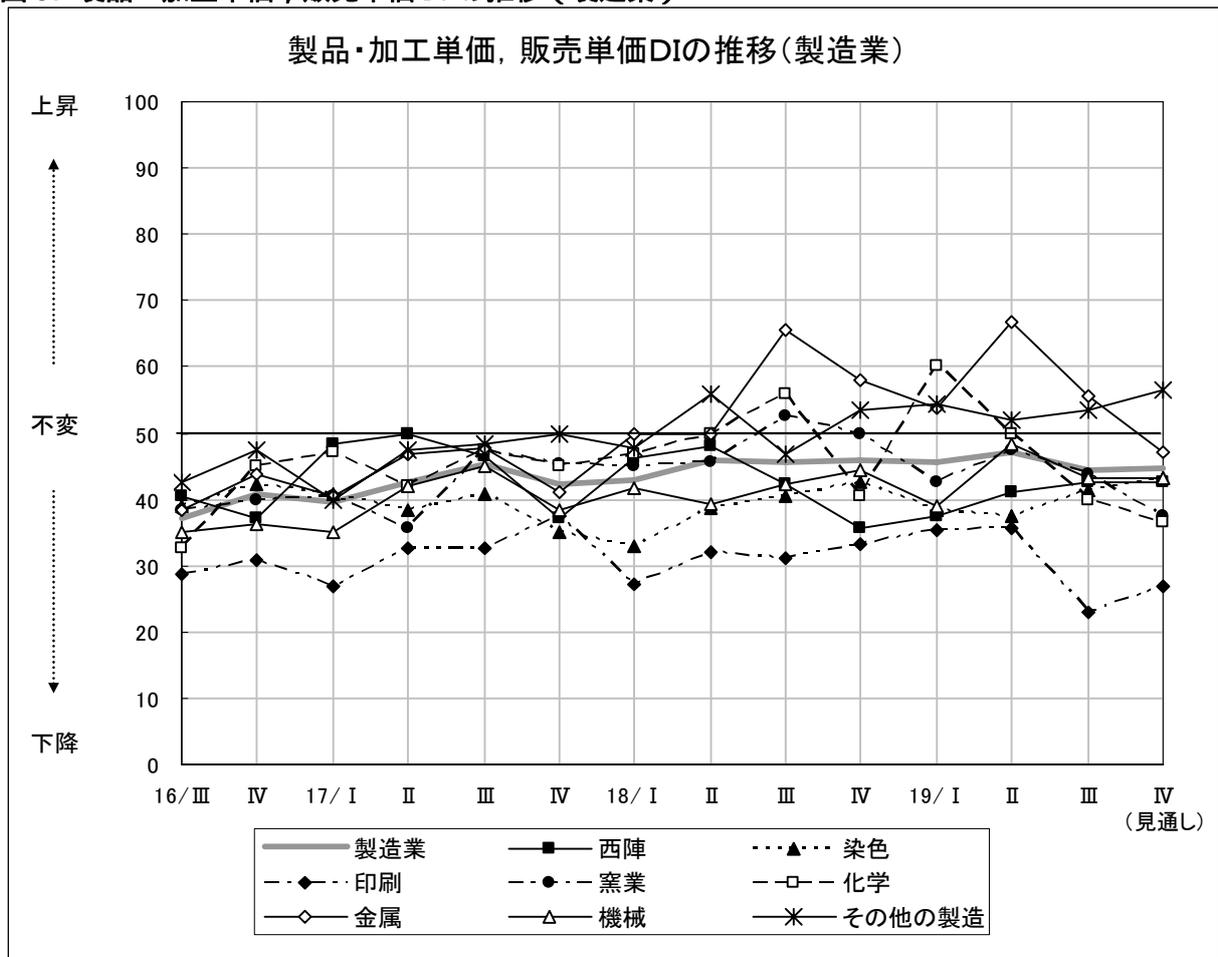


表 4. 製品・加工単価，販売単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	48.4	48.1	0.3	48.4	0.3
製造業	47.2	44.5	2.7	44.7	0.2
西陣	41.1	42.6	1.5	42.6	0.0
染色	37.5	41.4	3.9	43.1	1.7
印刷	35.7	23.1	12.6	26.9	3.8
窯業	47.5	43.8	3.7	37.5	6.3
化学	50.0	40.0	10.0	36.7	3.3
金属	66.7	55.6	11.1	47.1	8.5
機械	48.5	43.1	5.4	43.1	0.0
その他の製造	52.1	53.6	1.5	56.6	3.0
非製造業	49.6	51.4	1.8	51.9	0.5
卸売	49.2	50.8	1.6	55.7	4.9
小売	50.7	56.5	5.8	51.6	4.9
情報通信	53.8	47.5	6.3	47.5	0.0
飲食・宿泊	48.1	48.1	0.0	50.0	1.9
サービス	47.0	54.3	7.3	55.9	1.6
建設	50.0	45.8	4.2	45.8	0.0
観光関連	52.2	52.0	0.2	56.3	4.3

網掛けは，10ポイント以上の変動を示す。

5. 仕入単価

.72回調査までの「原材料価格」のこと。73回調査から「仕入単価」として全業種を対象に調査。

図9. 仕入単価DIの推移（全体）

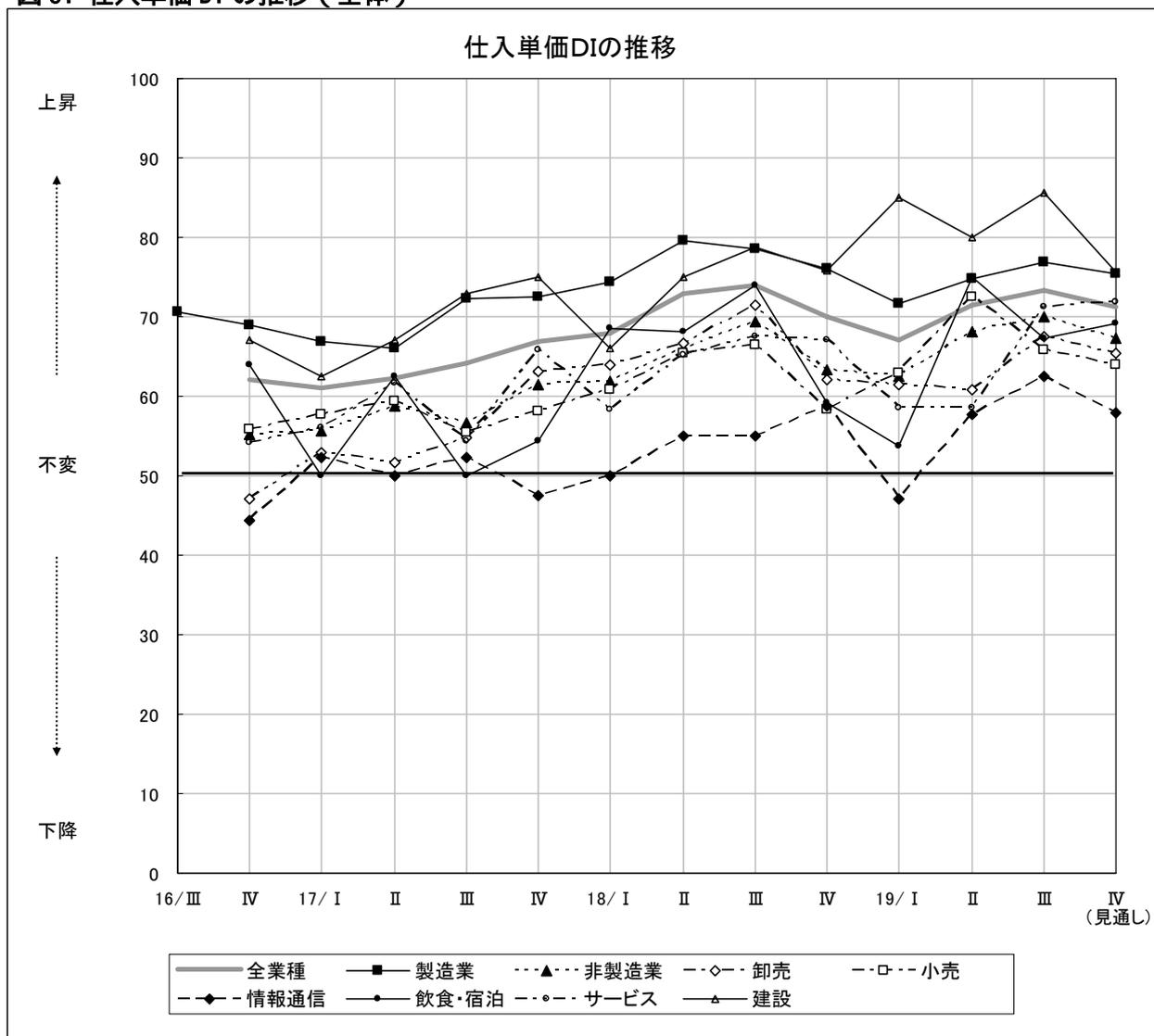


図 10. 仕入単価DIの推移（製造業）

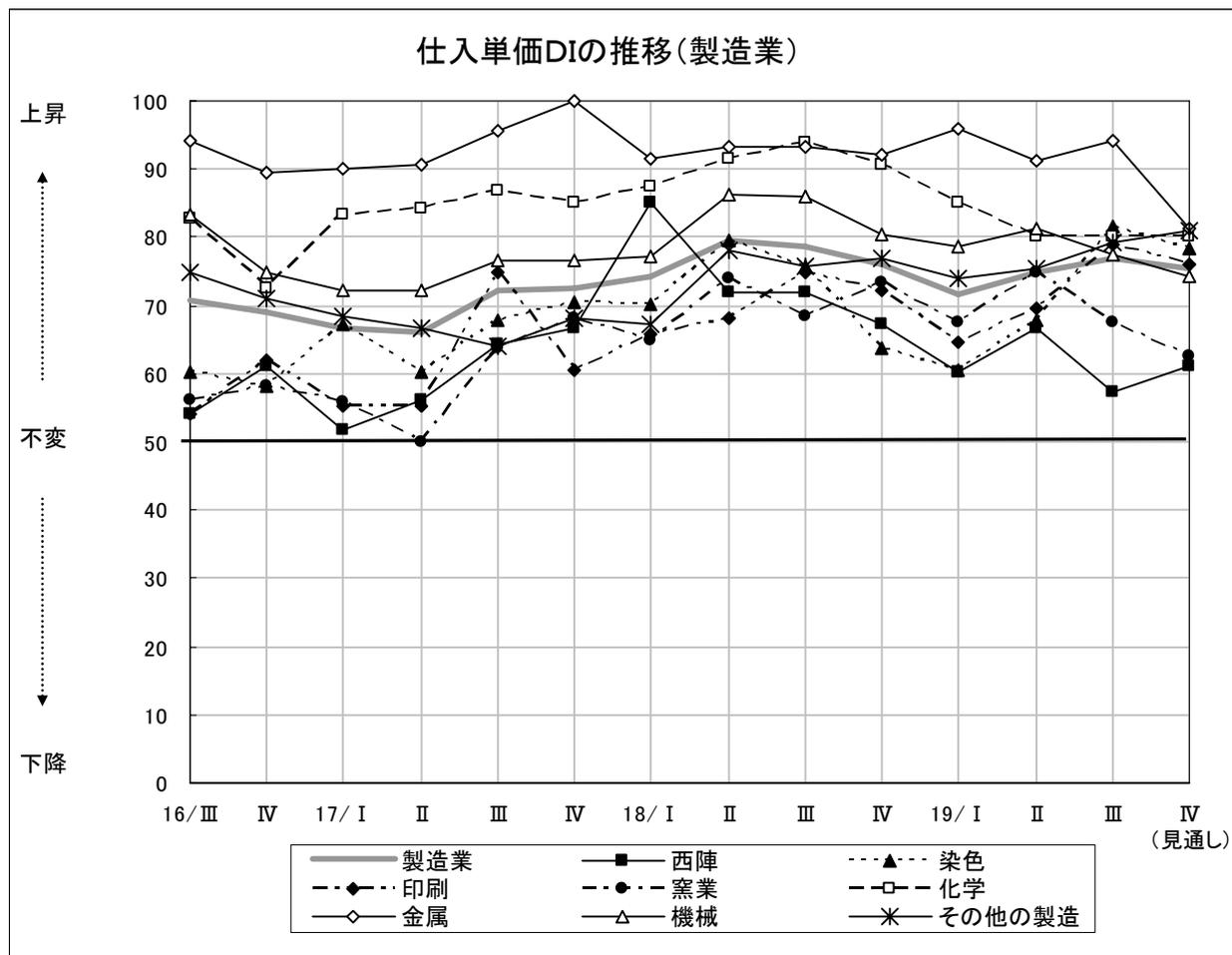


表 5. 仕入単価DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	71.5	73.3	1.8	71.3	2.0
製造業	74.8	77.0	2.2	75.4	1.6
西陣	66.7	57.4	9.3	61.1	3.7
染色	67.7	81.7	14.0	78.3	3.4
印刷	69.6	78.8	9.2	76.0	2.8
窯業	75.0	67.6	7.4	62.5	5.1
化学	80.0	80.0	0.0	80.0	0.0
金属	91.2	94.1	2.9	81.3	12.8
機械	81.3	77.6	3.7	74.1	3.5
その他の製造	75.3	79.1	3.8	81.1	2.0
非製造業	68.2	69.9	1.7	67.3	2.6
卸売	60.8	67.4	6.6	65.3	2.1
小売	72.5	65.9	6.6	63.9	2.0
情報通信	57.7	62.5	4.8	57.9	4.6
飲食・宿泊	75.0	67.3	7.7	69.2	1.9
サービス	58.6	71.2	12.6	71.9	0.7
建設	80.0	85.5	5.5	75.7	9.8
観光関連	72.0	76.0	4.0	72.0	4.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

6 . 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DI の推移 (全体)

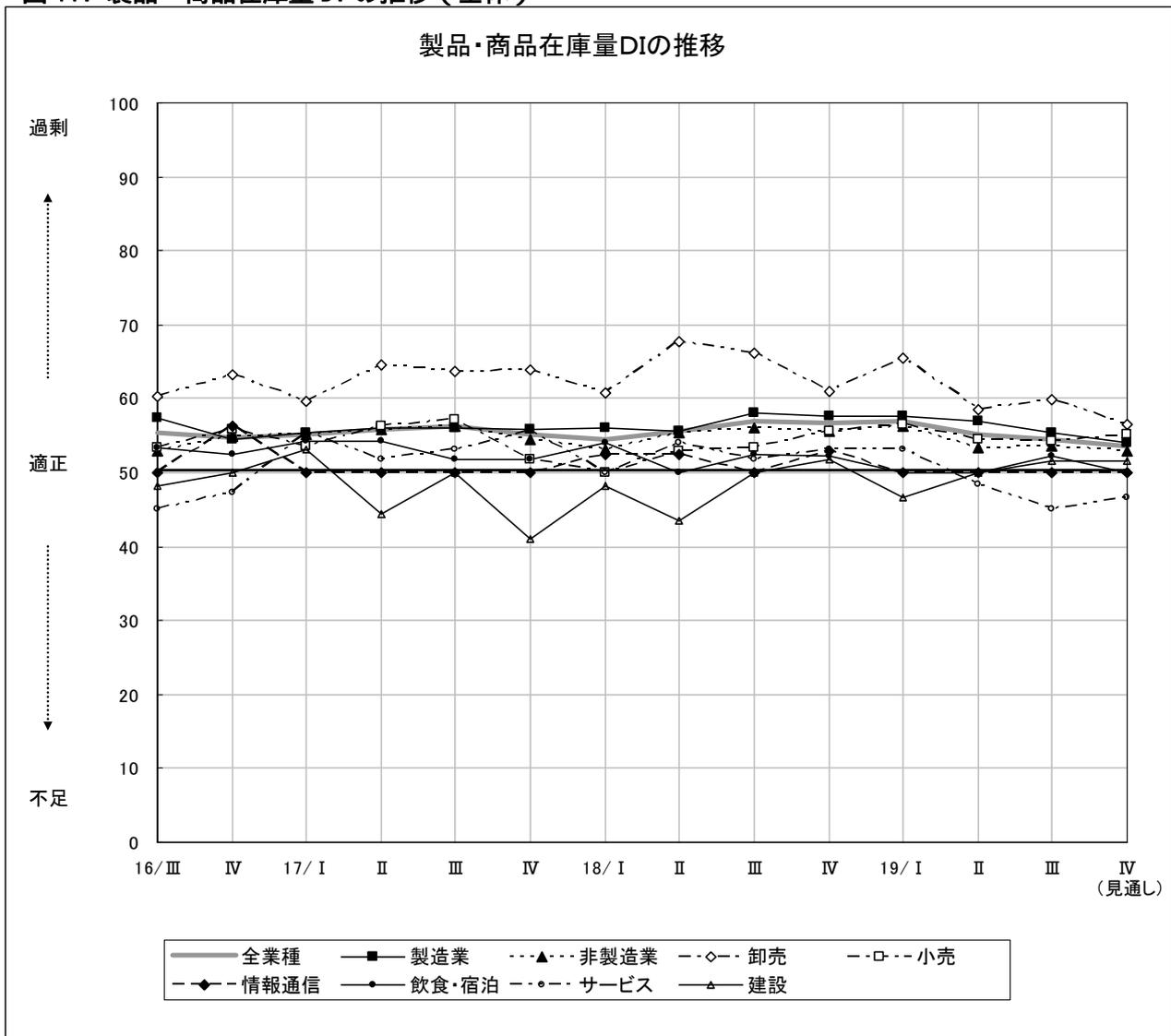


図 12. 製品・商品在庫量の推移（製造業）

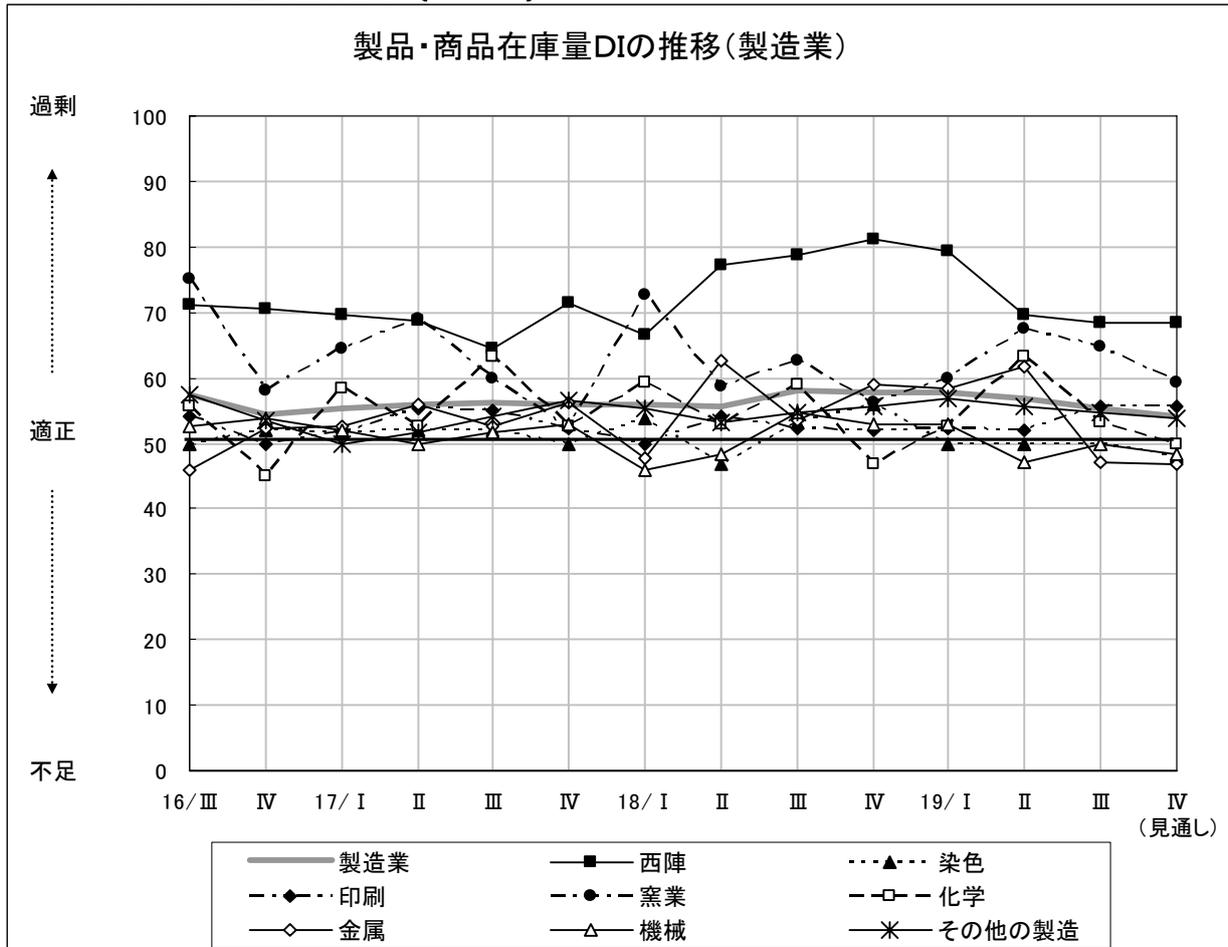


表 6. 製品・商品在庫量 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.1	54.5	0.6	53.5	1.0
製造業	56.8	55.4	1.4	54.1	1.3
西陣	69.6	68.5	1.1	68.5	0.0
染色	50.0	50.0	0.0	48.1	1.9
印刷	51.9	55.8	3.9	55.8	0.0
窯業	67.5	64.7	2.8	59.4	5.3
化学	63.3	53.3	10.0	50.0	3.3
金属	61.8	47.1	14.7	46.9	0.2
機械	47.0	50.0	3.0	48.3	1.7
その他の製造	55.6	54.6	1.0	53.8	0.8
非製造業	53.4	53.7	0.3	52.9	0.8
卸売	58.5	59.8	1.3	56.6	3.2
小売	54.4	54.2	0.2	55.2	1.0
情報通信	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
飲食・宿泊	50.0	52.2	2.2	50.0	2.2
サービス	48.3	45.0	3.3	46.6	1.6
建設	50.0	51.5	1.5	51.5	0.0
観光関連	52.2	56.5	4.3	50.0	6.5

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

7. 雇用人員

図 13. 雇用人員DIの推移（全体）

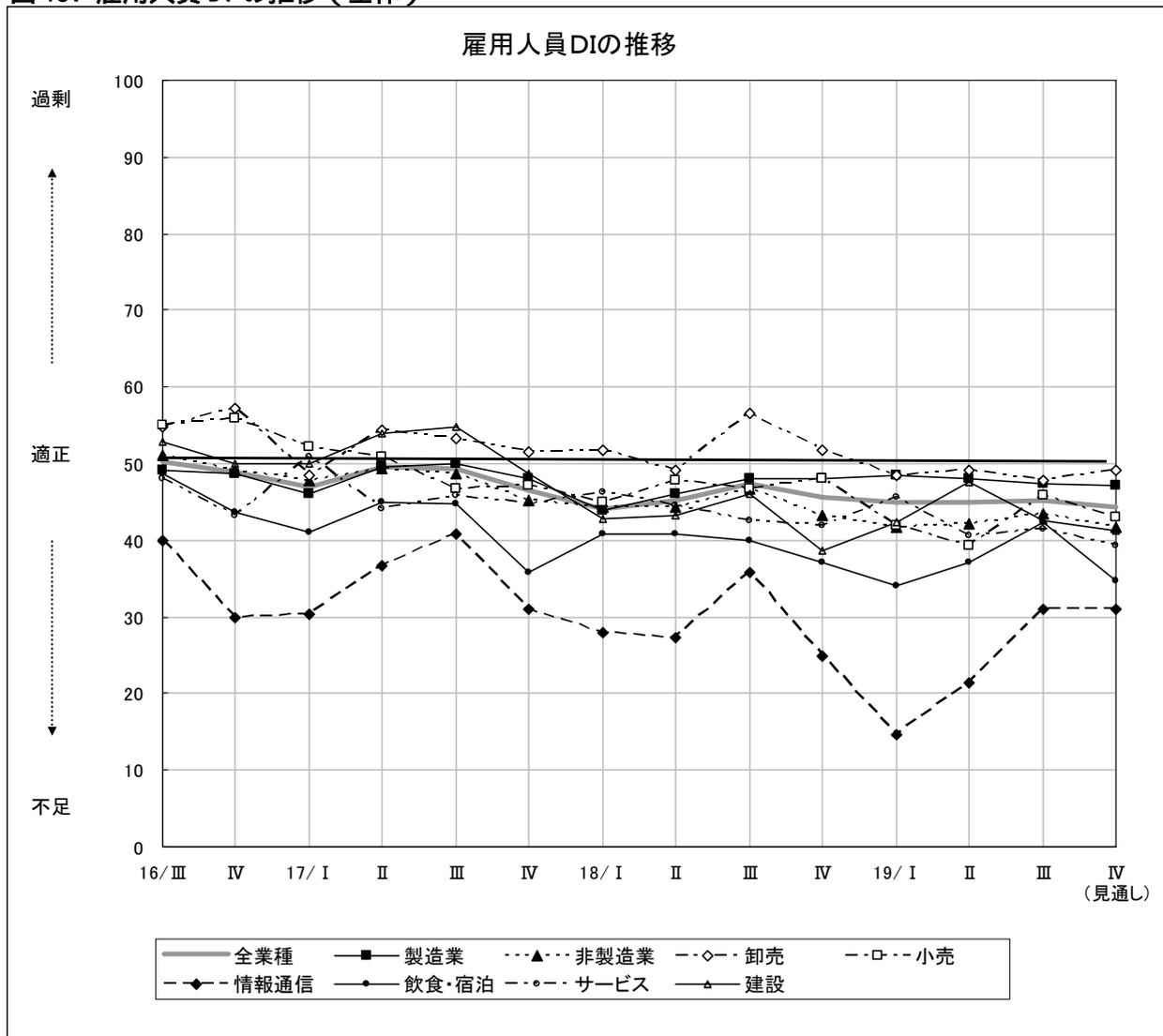


図 14. 雇用人員 DI の推移（製造業）

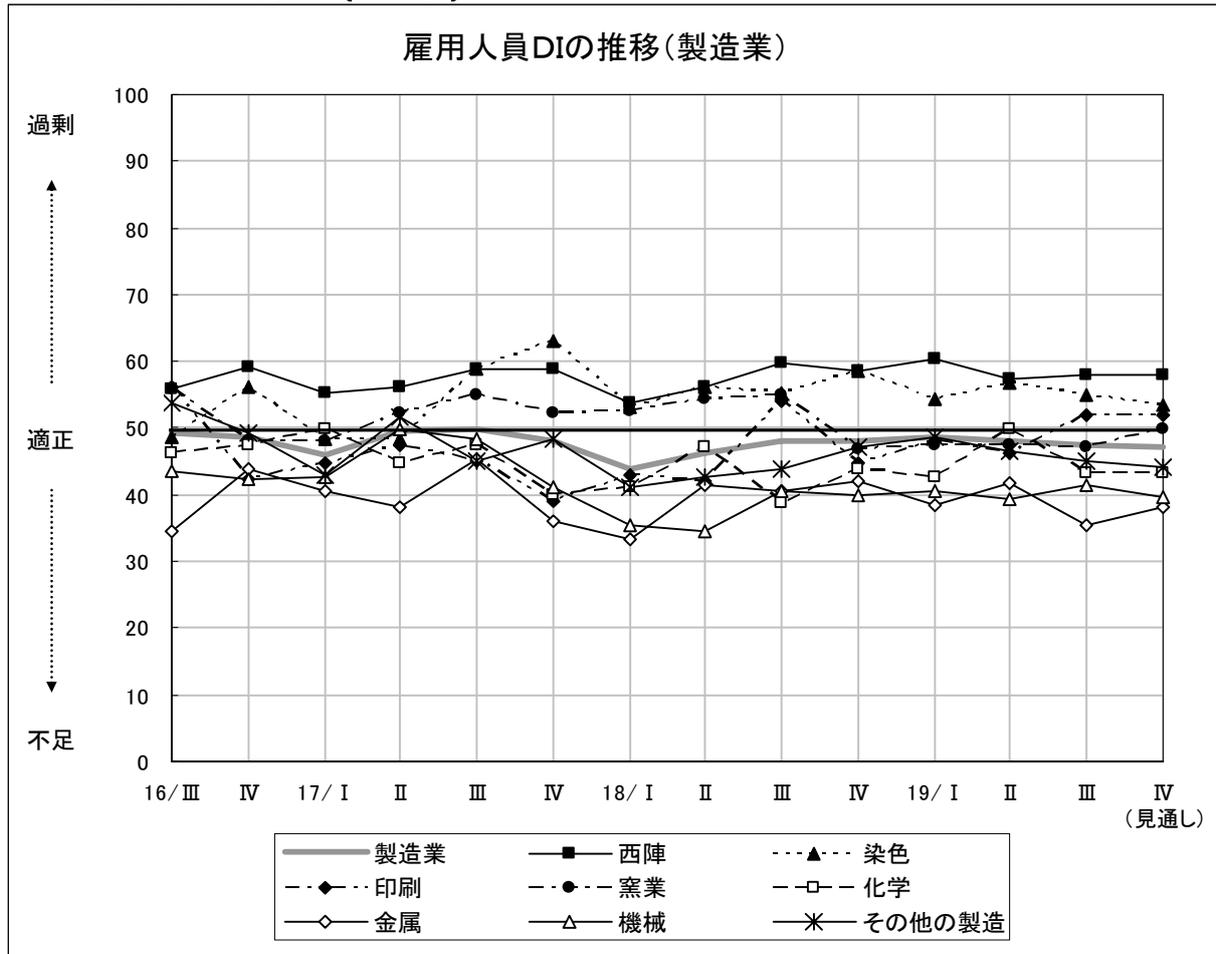


表 7. 雇用人員 DI 実績値（前期 / 今期 / 来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	44.9	45.3	0.4	44.2	1.1
製造業	47.9	47.4	0.5	47.1	0.3
西陣	57.4	58.0	0.6	58.0	0.0
染色	56.7	55.0	1.7	53.4	1.6
印刷	46.3	51.9	5.6	51.9	0.0
窯業	47.5	47.1	0.4	50.0	2.9
化学	50.0	43.3	6.7	43.3	0.0
金属	41.7	35.3	6.4	38.2	2.9
機械	39.4	41.4	2.0	39.7	1.7
其他の製造	46.6	44.9	1.7	44.0	0.9
非製造業	42.2	43.5	1.3	41.7	1.8
卸売	49.2	47.7	1.5	49.2	1.5
小売	39.4	45.9	6.5	43.1	2.8
情報通信	21.4	31.0	9.6	31.0	0.0
飲食・宿泊	37.0	42.3	5.3	34.6	7.7
サービス	40.6	41.5	0.9	39.4	2.1
建設	47.7	42.5	5.2	41.3	1.2
観光関連	38.5	44.0	5.5	40.0	4.0

8 . 資金繰り

図 15. 資金繰りDIの推移（全体）

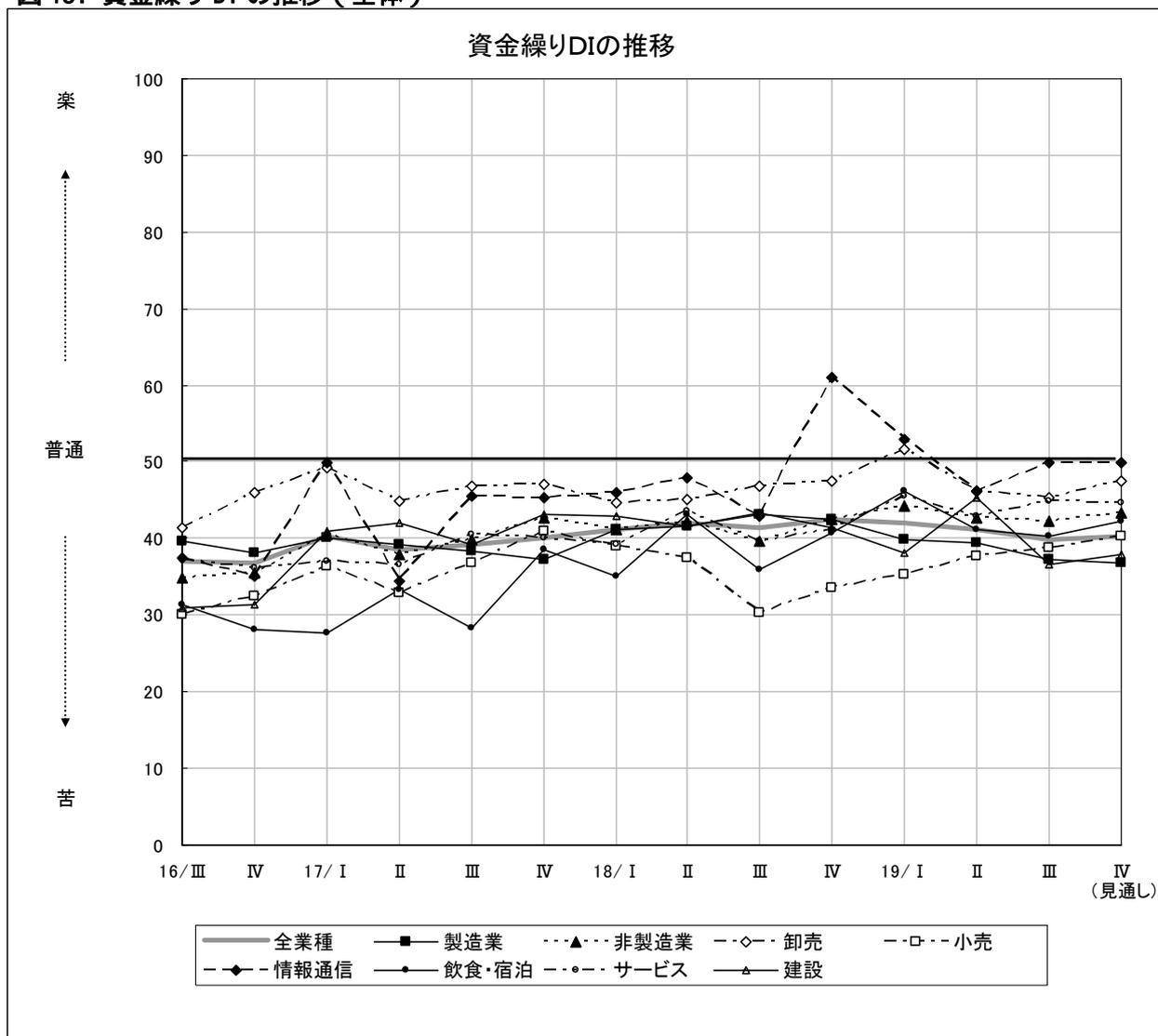


図 16. 資金繰りDIの推移（製造業）

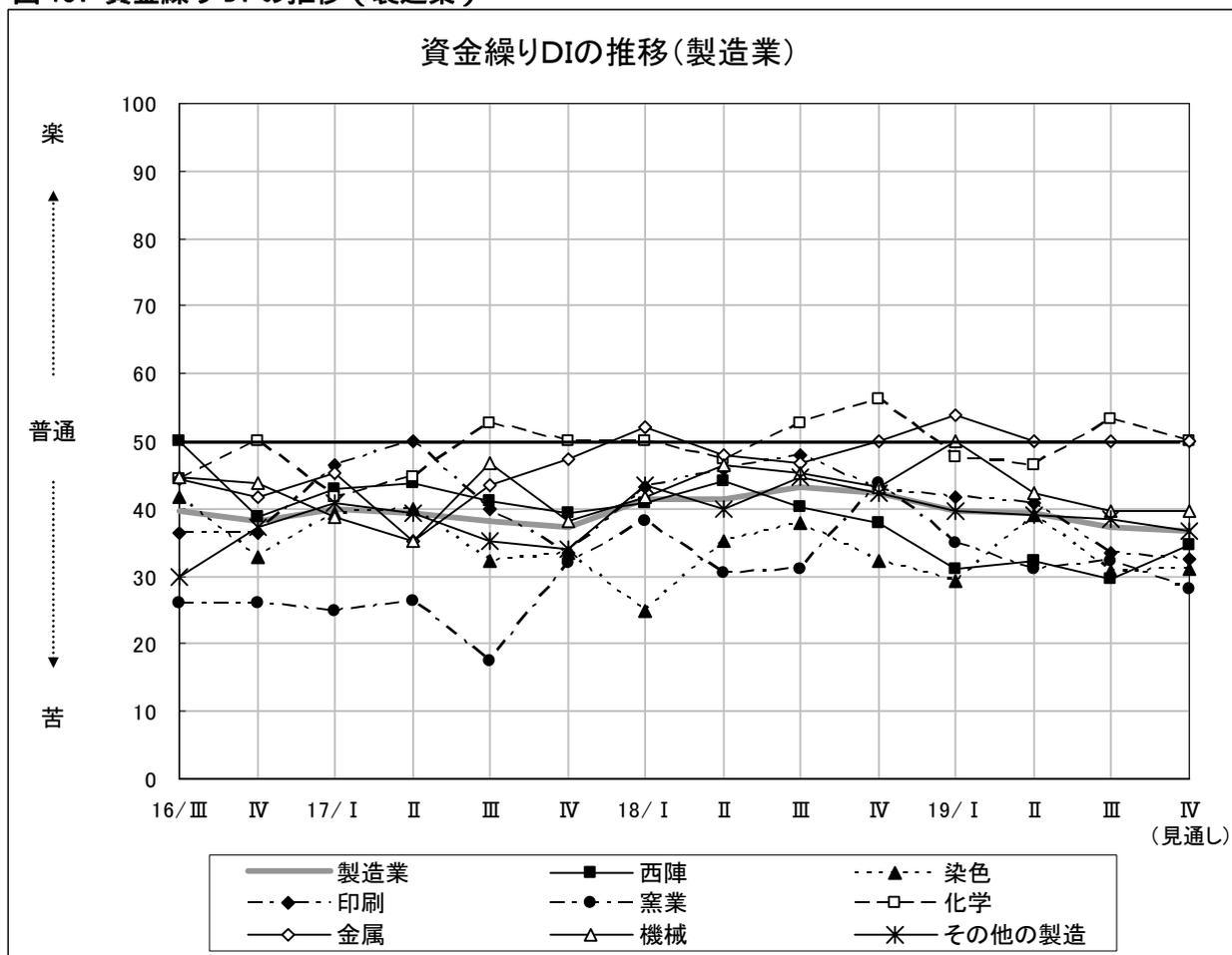


表 8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	41.2	40.0	1.2	40.3	0.3
製造業	39.5	37.3	2.2	36.8	0.5
西陣	32.1	29.6	2.5	34.6	5.0
染色	39.1	30.6	8.5	31.0	0.4
印刷	40.7	33.3	7.4	32.7	0.6
窯業	31.0	32.4	1.4	28.1	4.3
化学	46.4	53.3	6.9	50.0	3.3
金属	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
機械	42.4	39.7	2.7	39.7	0.0
その他の製造	39.2	38.4	0.8	36.6	1.8
非製造業	42.7	42.3	0.4	43.4	1.1
卸売	46.2	45.4	0.8	47.5	2.1
小売	37.7	38.9	1.2	40.3	1.4
情報通信	46.2	50.0	3.8	50.0	0.0
飲食・宿泊	41.1	40.4	0.7	42.3	1.9
サービス	43.0	44.9	1.9	44.7	0.2
建設	45.3	36.6	8.7	37.8	1.2
観光関連	44.2	44.0	0.2	46.0	2.0

9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

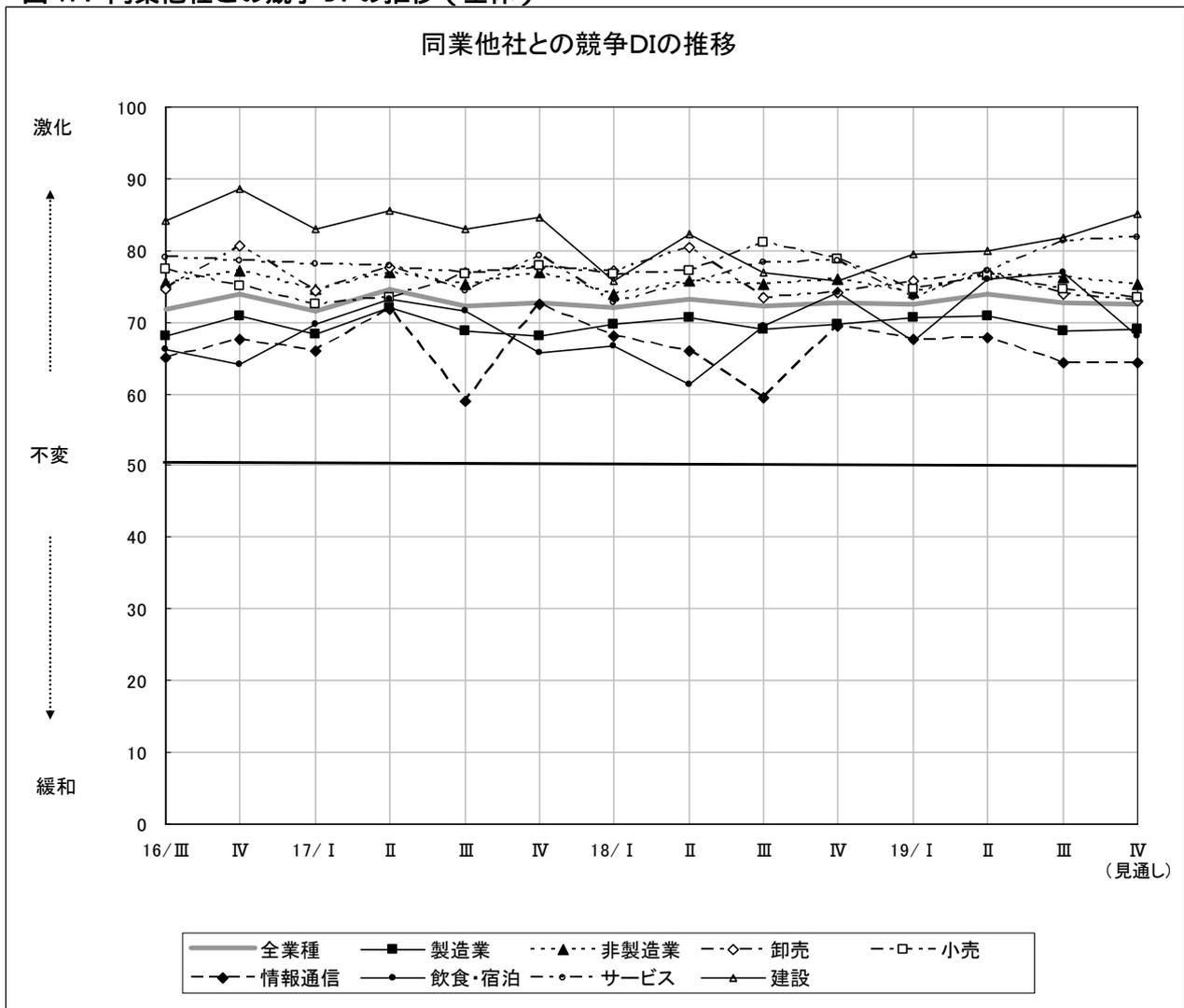


図 18. 同業他社との競争DIの推移（製造業）

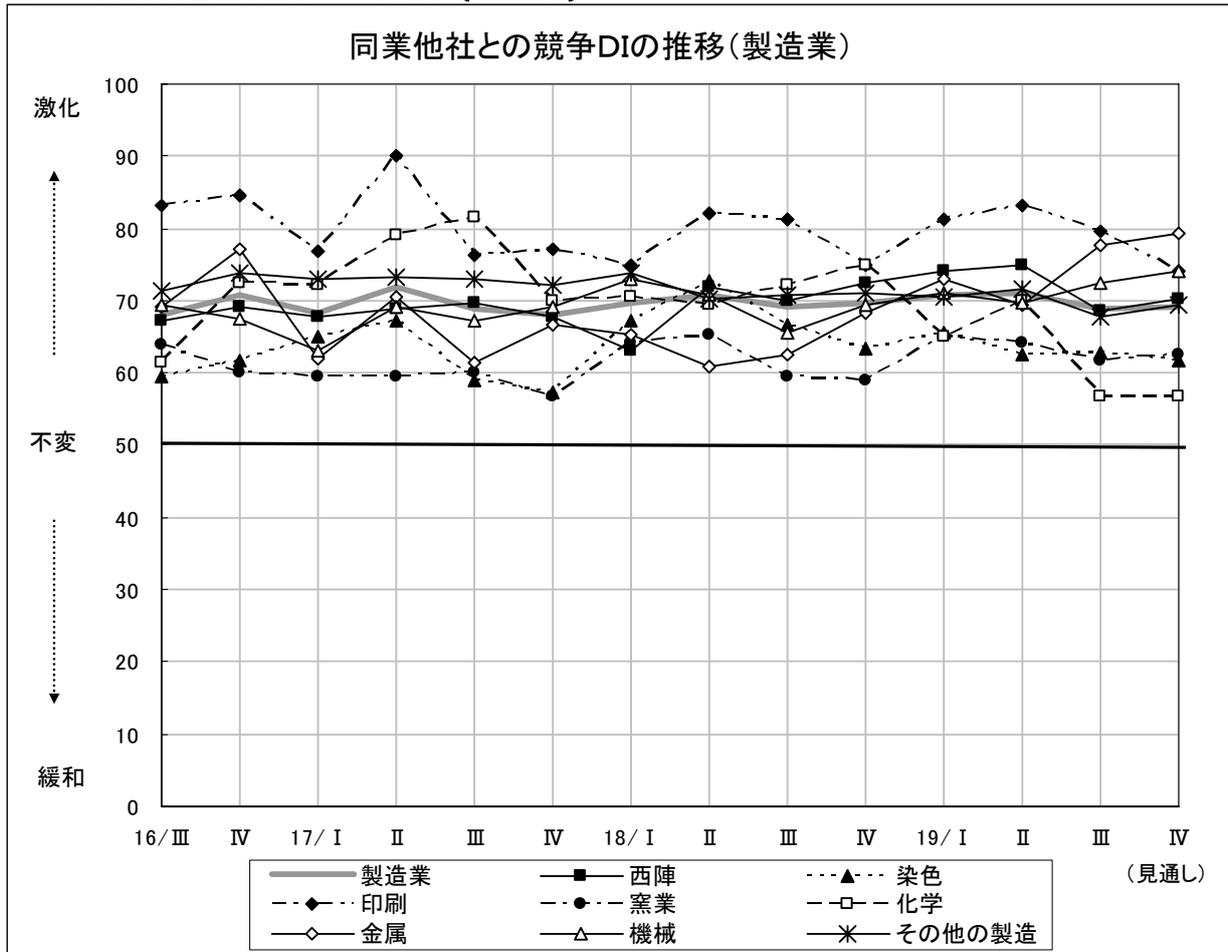


表 9. 同業他社との競争DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	73.9	72.7	1.2	72.4	0.3
製造業	71.0	68.8	2.2	69.0	0.2
西陣	75.0	68.5	6.5	70.4	1.9
染色	62.5	62.9	0.4	61.7	1.2
印刷	83.3	79.6	3.7	74.0	5.6
窯業	64.3	61.8	2.5	62.5	0.7
化学	70.0	56.7	13.3	56.7	0.0
金属	69.4	77.8	8.4	79.4	1.6
機械	69.7	72.4	2.7	74.1	1.7
その他の製造	71.6	67.9	3.7	69.4	1.5
非製造業	76.7	76.1	0.6	75.4	0.7
卸売	76.9	73.8	3.1	72.9	0.9
小売	76.5	74.6	1.9	73.3	1.3
情報通信	67.9	64.3	3.6	64.3	0.0
飲食・宿泊	75.9	76.9	1.0	68.0	8.9
サービス	77.2	81.3	4.1	81.9	0.6
建設	80.0	81.7	1.7	85.0	3.3
観光関連	76.0	76.0	0.0	74.0	2.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

10. 受注残

図 19. 受注残 DI の推移

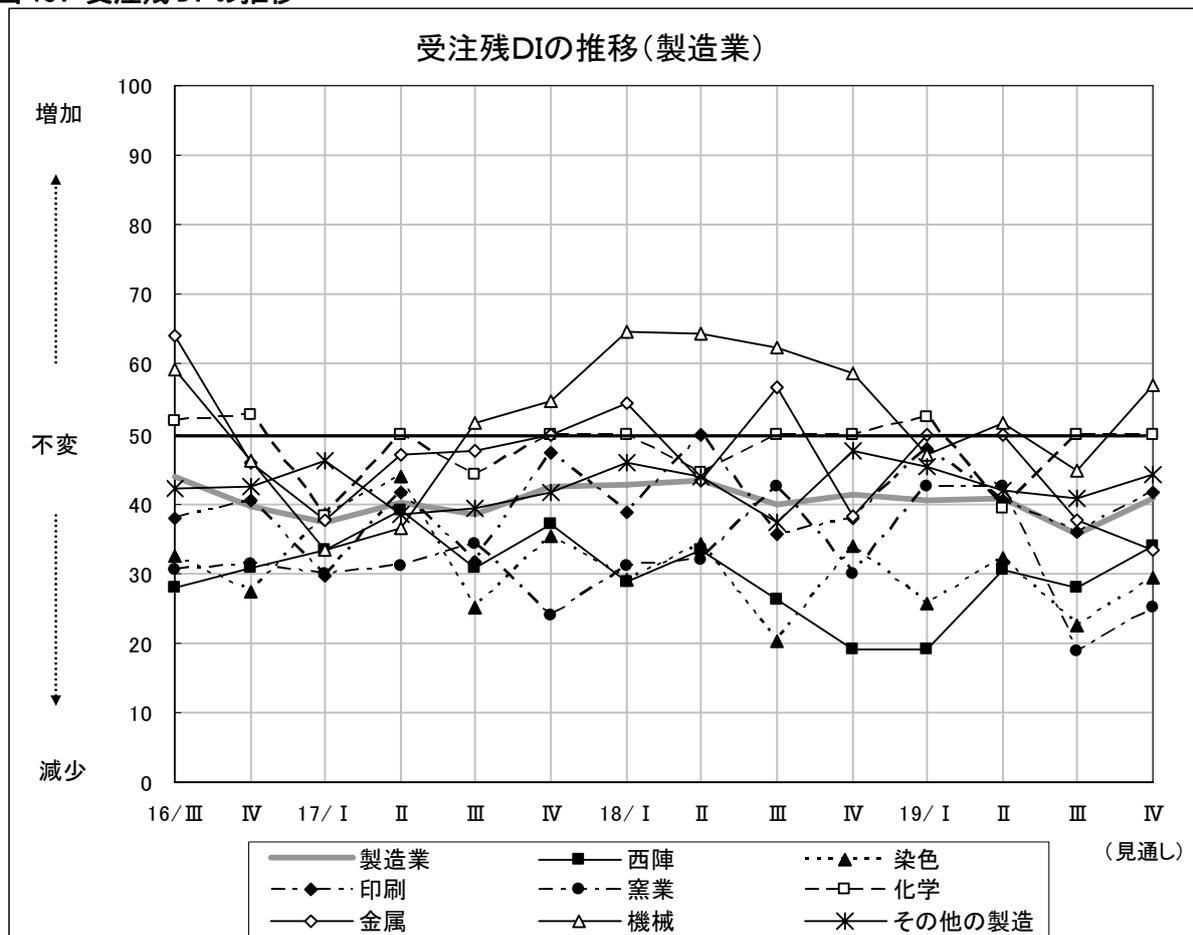


表 10. 受注残 DI 実績値 (前期 / 今期 / 来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	40.8	35.6	5.2	40.8	5.2
西陣	30.4	28.0	2.4	34.0	6.0
染色	32.3	22.4	9.9	29.3	6.9
印刷	40.4	36.0	4.4	41.7	5.7
窯業	42.5	18.8	23.7	25.0	6.2
化学	39.3	50.0	10.7	50.0	0.0
金属	50.0	37.5	12.5	33.3	4.2
機械	51.6	44.8	6.8	56.9	12.1
其他の製造	41.9	40.6	1.3	44.3	3.7
観光関連	40.0	28.6	11.4	50.0	21.4

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

11. 生産設備

図 20. 生産設備 DI の推移

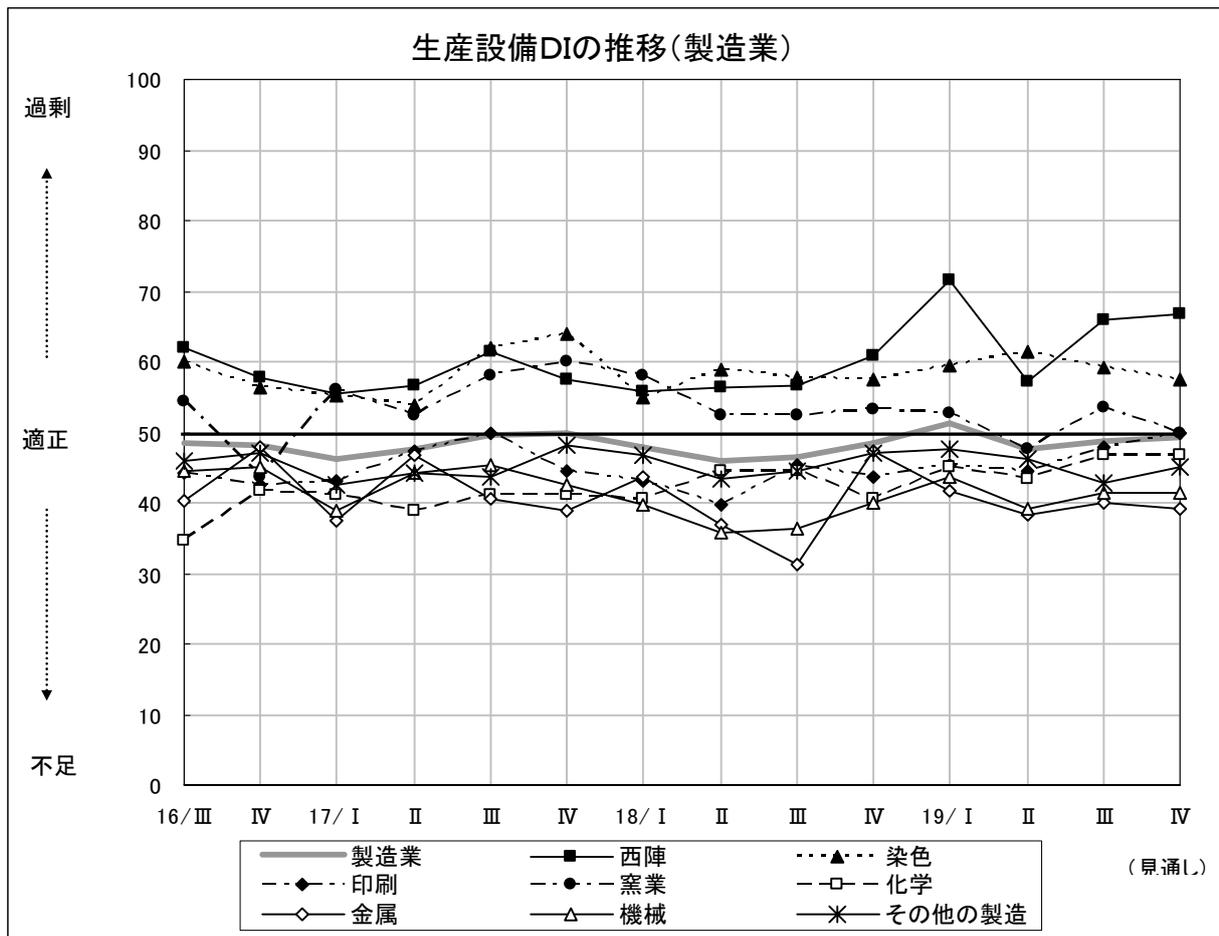


表 11. 生産設備 DI 実績値 (前期 / 今期 / 来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	47.6	48.8	1.2	49.3	0.5
西陣	57.1	66.0	8.9	66.7	0.7
染色	61.3	59.3	2.0	57.4	1.9
印刷	44.4	48.0	3.6	50.0	2.0
窯業	47.5	53.6	6.1	50.0	3.6
化学	43.3	46.7	3.4	46.7	0.0
金属	38.2	40.0	1.8	39.3	0.7
機械	39.1	41.4	2.3	41.4	0.0
その他の製造	46.1	42.9	3.2	45.0	2.1
観光関連	30.0	42.9	12.9	42.9	0.0

網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

(2) 当面の経営戦略について

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

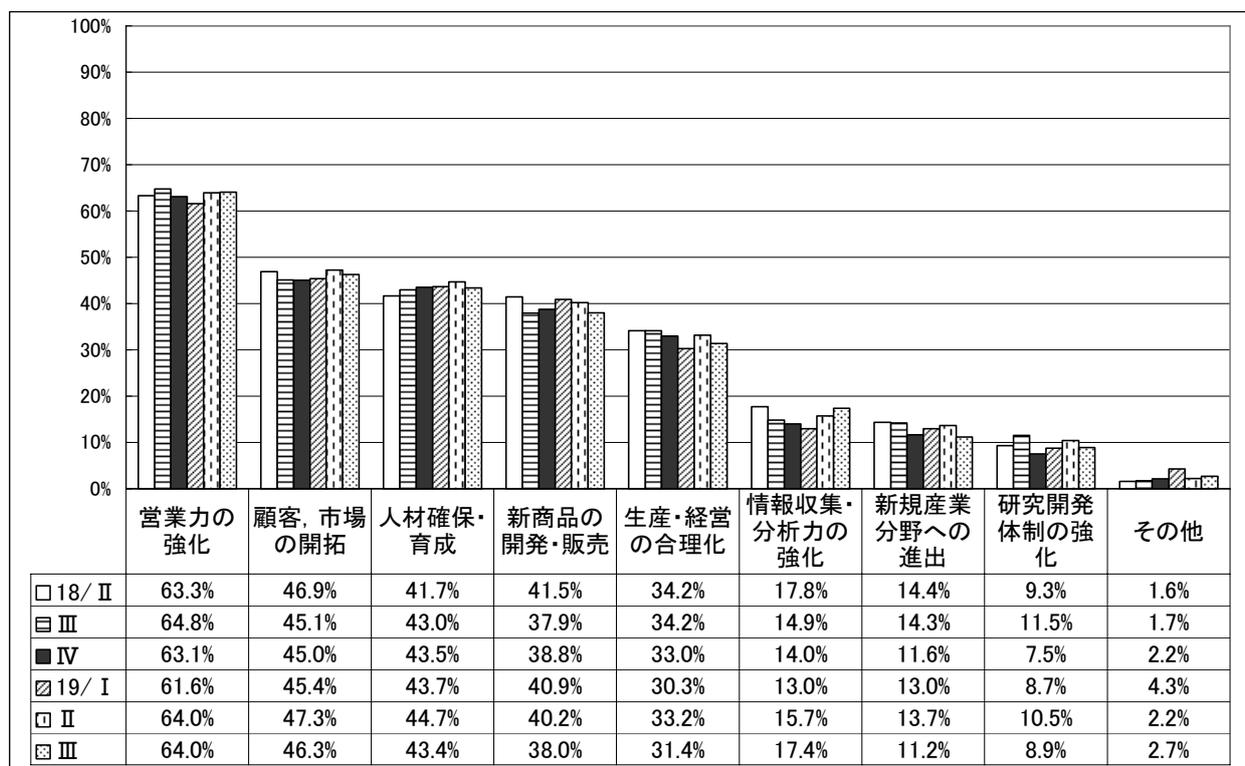


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

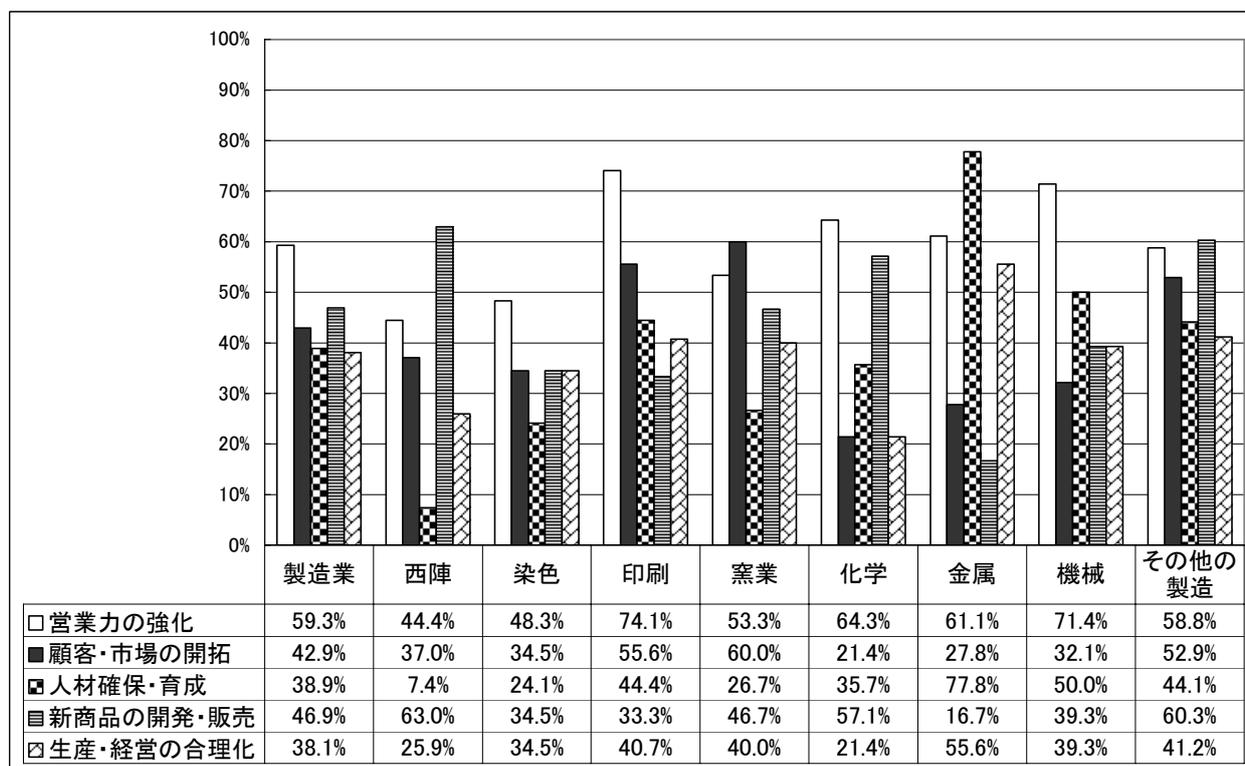


図 24. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

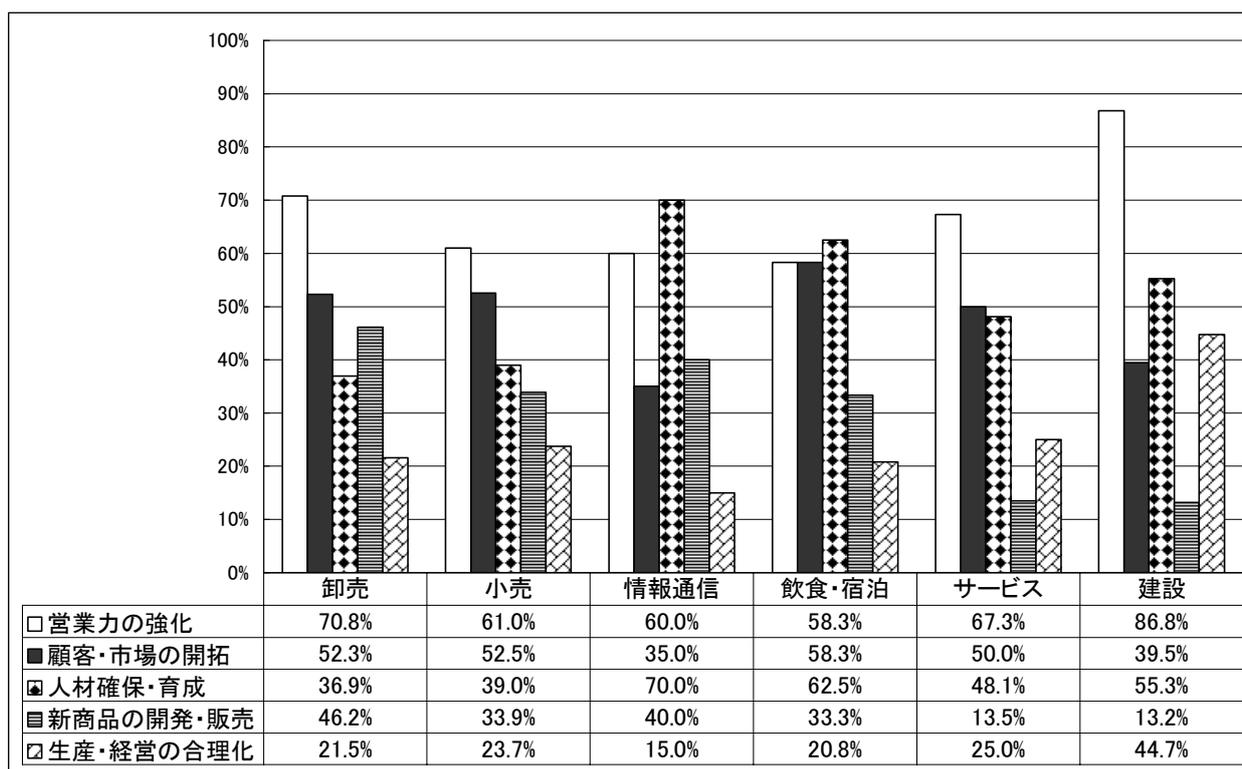


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	310 64.0%	152 31.4%	210 43.4%	54 11.2%	224 46.3%	184 38.0%	43 8.9%	84 17.4%	13 2.7%	484 100.0%	30
製造業	134 59.3%	86 38.1%	88 38.9%	32 14.2%	97 42.9%	106 46.9%	32 14.2%	38 16.8%	4 1.8%	226 100.0%	12
西陣	12 44.4%	7 25.9%	2 7.4%	7 25.9%	10 37.0%	17 63.0%	2 7.4%	5 18.5%	0 0.0%	27 100.0%	1
染色	14 48.3%	10 34.5%	7 24.1%	5 17.2%	10 34.5%	10 34.5%	0 0.0%	6 20.7%	1 3.4%	29 100.0%	2
印刷	20 74.1%	11 40.7%	12 44.4%	3 11.1%	15 55.6%	9 33.3%	1 3.7%	6 22.2%	0 0.0%	27 100.0%	1
窯業	8 53.3%	6 40.0%	4 26.7%	0 0.0%	9 60.0%	7 46.7%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	15 100.0%	2
化学	9 64.3%	3 21.4%	5 35.7%	3 21.4%	3 21.4%	8 57.1%	7 50.0%	1 7.1%	0 0.0%	14 100.0%	1
金属	11 61.1%	10 55.6%	14 77.8%	3 16.7%	5 27.8%	3 16.7%	4 22.2%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%	0
機械	20 71.4%	11 39.3%	14 50.0%	5 17.9%	9 32.1%	11 39.3%	7 25.0%	4 14.3%	1 3.6%	28 100.0%	1
その他の製造	40 58.8%	28 41.2%	30 44.1%	6 8.8%	36 52.9%	41 60.3%	10 14.7%	10 14.7%	2 2.9%	68 100.0%	4
非製造業	176 68.2%	66 25.6%	122 47.3%	22 8.5%	127 49.2%	78 30.2%	11 4.3%	46 17.8%	9 3.5%	258 100.0%	18
卸売	46 70.8%	14 21.5%	24 36.9%	8 12.3%	34 52.3%	30 46.2%	3 4.6%	8 12.3%	1 1.5%	65 100.0%	2
小売	36 61.0%	14 23.7%	23 39.0%	4 6.8%	31 52.5%	20 33.9%	1 1.7%	9 15.3%	5 8.5%	59 100.0%	7
情報通信	12 60.0%	3 15.0%	14 70.0%	3 15.0%	7 35.0%	8 40.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%	20 100.0%	2
飲食・宿泊	14 58.3%	5 20.8%	15 62.5%	1 4.2%	14 58.3%	8 33.3%	0 0.0%	3 12.5%	2 8.3%	24 100.0%	4
サービス	35 67.3%	13 25.0%	25 48.1%	3 5.8%	26 50.0%	7 13.5%	1 1.9%	15 28.8%	0 0.0%	52 100.0%	0
建設	33 86.8%	17 44.7%	21 55.3%	3 7.9%	15 39.5%	5 13.2%	2 5.3%	10 26.3%	1 2.6%	38 100.0%	3
観光関連	25 69.4%	11 30.6%	18 50.0%	2 5.6%	23 63.9%	18 50.0%	2 5.6%	6 16.7%	3 8.3%	36 100.0%	5

(3) 経営上の不安要素について

図 25. 経営上の不安要素・全体回答状況

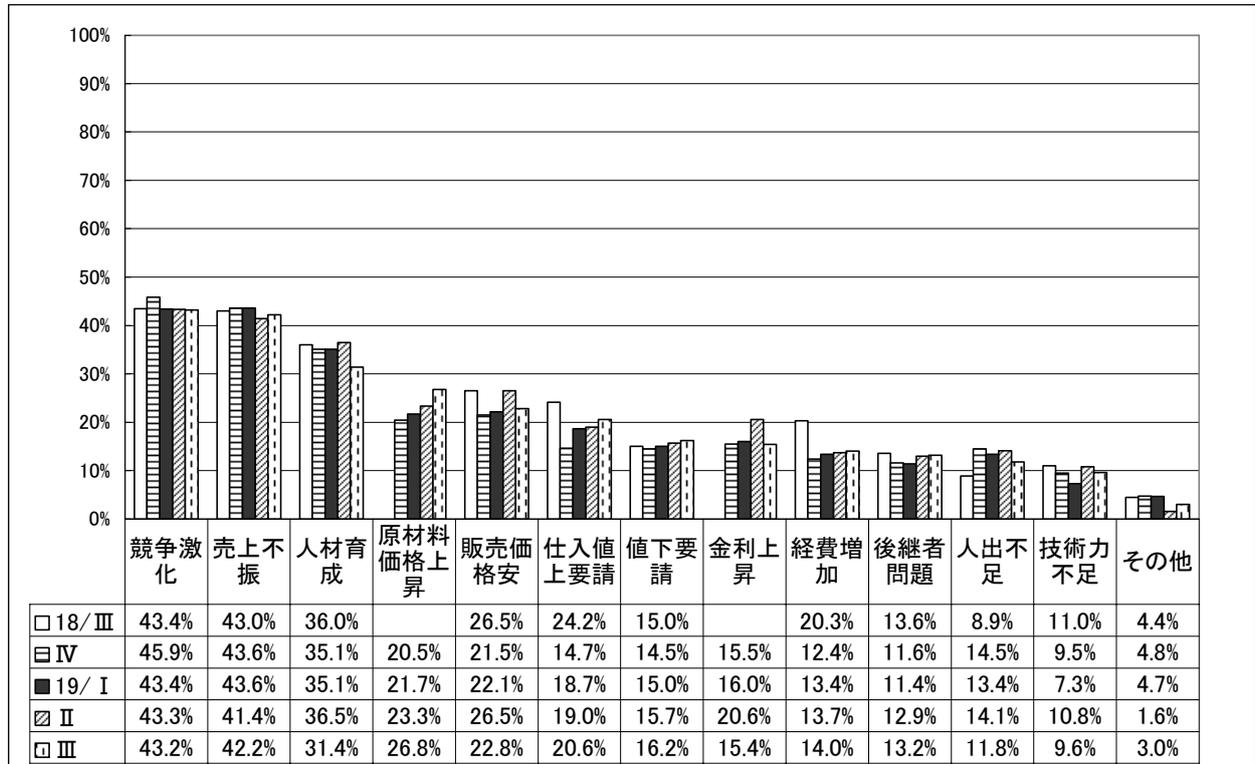


図 26. 経営上の不安要素・製造業主要回答

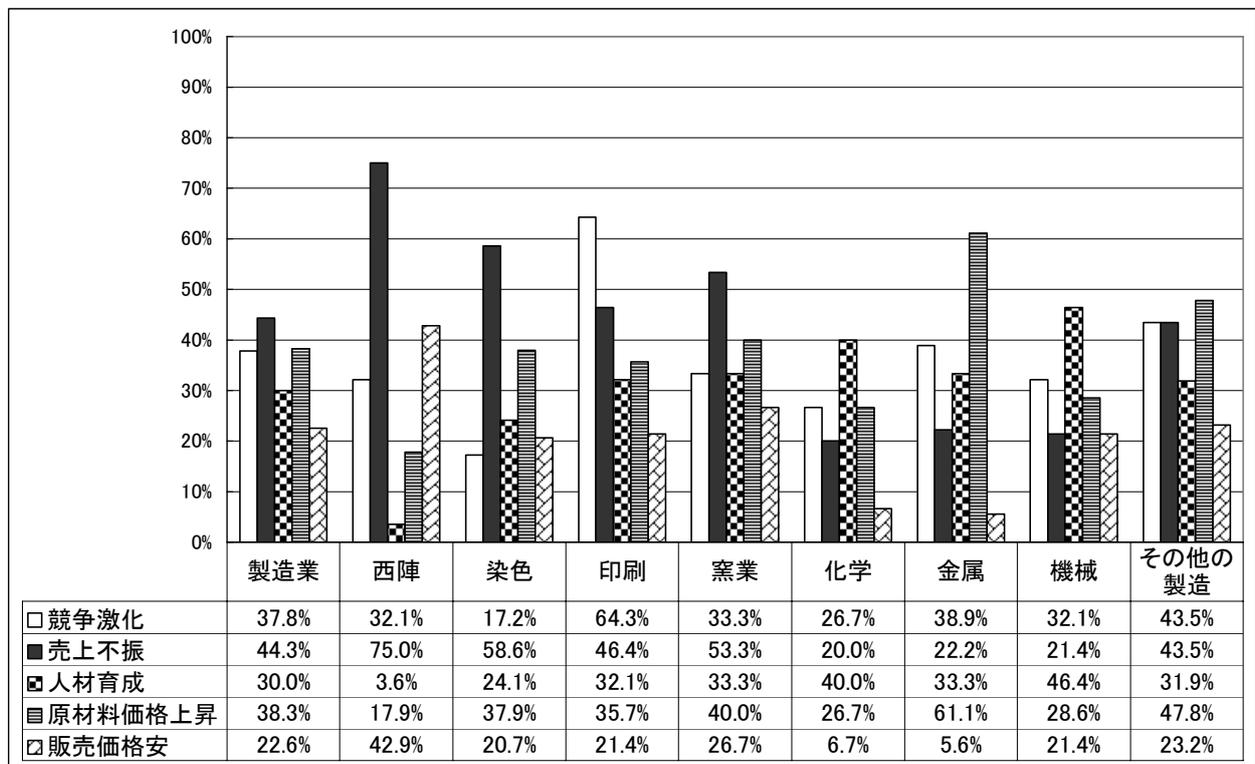


図 27. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

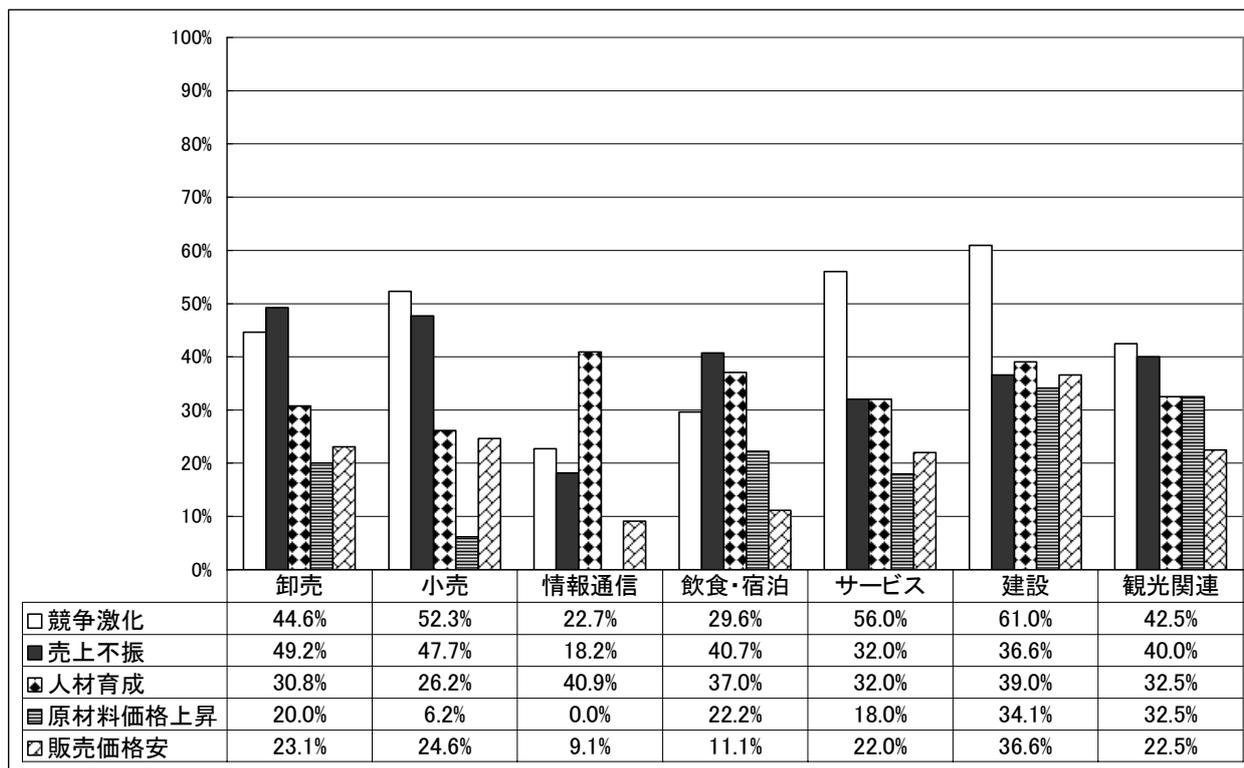


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安	技術力不 足	後継者問題	人出不足	経費増加	その他	有効回答	無回答
全業種	216 43.2%	211 42.2%	157 31.4%	81 16.2%	103 20.6%	134 26.8%	77 15.4%	114 22.8%	48 9.6%	66 13.2%	59 11.8%	70 14.0%	15 3.0%	500 100.0%	14
製造業	87 37.8%	102 44.3%	69 30.0%	42 18.3%	52 22.6%	88 38.3%	40 17.4%	52 22.6%	29 12.6%	26 11.3%	21 9.1%	26 11.3%	3 1.3%	230 100.0%	8
西陣	9 32.1%	21 75.0%	1 3.6%	5 17.9%	4 14.3%	5 17.9%	7 25.0%	12 42.9%	0 0.0%	4 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%	0
染色	5 17.2%	17 58.6%	7 24.1%	6 20.7%	6 20.7%	11 37.9%	4 13.8%	6 20.7%	2 6.9%	6 20.7%	0 0.0%	2 6.9%	1 3.4%	29 100.0%	2
印刷	18 64.3%	13 46.4%	9 32.1%	8 28.6%	8 28.6%	10 35.7%	6 21.4%	6 21.4%	3 10.7%	2 7.1%	1 3.6%	6 21.4%	0 0.0%	28 100.0%	0
窯業	5 33.3%	8 53.3%	5 33.3%	1 6.7%	1 6.7%	6 40.0%	4 26.7%	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	15 100.0%	2
化学	34 26.7%	3 20.0%	6 40.0%	0 0.0%	2 13.3%	4 26.7%	1 6.7%	1 6.7%	6 40.0%	1 6.7%	1 6.7%	2 13.3%	2 13.3%	15 100.0%	0
金属	7 38.9%	4 22.2%	6 33.3%	7 38.9%	7 27.8%	11 61.1%	3 16.7%	1 5.6%	1 5.6%	3 16.7%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	0
機械	9 32.1%	6 21.4%	13 46.4%	7 25.0%	5 17.9%	8 28.6%	4 14.3%	6 21.4%	11 39.3%	1 3.6%	5 17.9%	4 14.3%	2 7.1%	28 100.0%	1
その他の製造	30 43.5%	30 43.5%	22 31.9%	8 11.6%	21 30.4%	33 47.8%	11 15.9%	16 23.2%	4 5.8%	7 10.1%	10 14.5%	9 13.0%	0 0.0%	89 100.0%	3
非製造業	129 47.8%	109 40.4%	88 32.6%	39 14.4%	51 18.9%	46 17.0%	37 13.7%	62 23.0%	19 7.0%	40 14.8%	38 14.1%	44 16.3%	12 4.4%	270 100.0%	6
卸売	29 44.6%	32 49.2%	20 30.8%	7 10.8%	17 26.2%	13 20.0%	11 16.9%	15 23.1%	5 7.7%	11 16.9%	3 4.6%	4 6.2%	1 1.5%	65 100.0%	2
小売	34 52.3%	31 47.7%	17 26.2%	9 13.8%	17 26.2%	4 6.2%	9 13.8%	16 24.6%	2 3.1%	10 15.4%	6 9.2%	7 10.8%	5 7.7%	65 100.0%	1
情報通信	5 22.7%	4 18.2%	9 40.9%	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	4 18.2%	4 22.7%	5 27.3%	6 13.6%	3 4.5%	22 100.0%	0
飲食・宿泊	8 29.6%	11 40.7%	10 37.0%	1 3.7%	4 14.8%	6 22.2%	5 18.5%	3 11.1%	2 7.4%	6 22.2%	9 33.3%	15 55.6%	0 0.0%	27 100.0%	1
サービス	28 56.0%	16 32.0%	16 32.0%	5 10.0%	3 6.0%	9 18.0%	7 14.0%	11 22.0%	2 4.0%	4 8.0%	8 16.0%	9 18.0%	4 8.0%	50 100.0%	2
建設	25 61.0%	15 36.6%	16 39.0%	14 34.1%	10 24.4%	14 34.1%	5 12.2%	15 36.6%	4 9.8%	4 9.8%	6 14.6%	6 14.6%	1 2.4%	41 100.0%	0
観光関連	17 42.5%	16 40.0%	13 32.5%	4 10.0%	12 30.0%	13 32.5%	12 30.0%	9 22.5%	2 5.0%	5 12.5%	8 20.0%	16 40.0%	0 0.0%	40 100.0%	1

参考:分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
明治以前	13 (2.5)
明治	19 (3.7)
大正	12 (2.3)
昭和19年以前	33 (6.4)
20～39年	179 (34.8)
40～49年	100 (19.5)
昭和50年以降	82 (16.0)
平成	69 (13.4)
無回答	3 (0.6)
不明	4 (0.8)
合計	514 (100.0)

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
法人	436 (84.8)
個人	19 (3.7)
無回答	59 (11.5)
合計	514 (100.0)

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
製造業	238 (46.3)	非製造業	276 (53.7)
西陣	28 (5.4)	卸売	67 (13.0)
染色	31 (6.0)	小売	66 (12.8)
印刷	28 (5.4)	情報通信	22 (4.3)
窯業	17 (3.3)	飲食・宿泊	28 (5.4)
化学	15 (2.9)	サービス	52 (10.1)
金属	18 (3.5)	建設	41 (8.0)
機械	29 (5.6)	不明	0 (0.0)
その他の製造	72 (14.0)	合計	514 (100.0)

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
～100万円	1 (0.2)	3001～5000	68 (15.6)
101～200	0 (0.0)	5001～1億円	38 (8.7)
201～500	40 (9.2)	1億円超	8 (1.8)
501～1000	168 (38.5)	無回答	0 (0.0)
1001～3000	113 (25.9)	合計	436 (100.0)

法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
0～4人	77 (15.0)	50～99人	75 (14.6)
5～9人	96 (18.7)	100人以上	33 (6.4)
10～19人	96 (18.7)	無回答	1 (0.2)
20～29人	72 (14.0)	合計	514 (100.0)
30～49人	64 (12.5)		

第84回京都市中小企業経営動向実態調査

京都市産業観光局

(TEL:222-3333 FAX:222-3331)

【締切日 平成19年9月7日(金)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には、印をお付けください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名							
経営形態	法人・個人	資本金			万円	電話	
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成) 年				従業員数		人
業種	製造業：A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造						
	非製造業：I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設						
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業，商品を扱う卸売業，小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に をお付けください。						
主な製品，商品，サービス							
御記入者	部課：	役職：			氏名：		

業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに印をお付けください。

項目	期間	平成19年7月～9月の実績 (前年の同期と比較して)			平成19年10月～12月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価，販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化 | 2 生産・経営の合理化 | 3 人材確保・育成 |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓 | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化 | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他() |

(裏面も御記入ください。)

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化 | 2 売上不振 | 3 人材育成 |
| 4 値下要請 | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に)価格上昇 |
| 7 金利上昇 | 8 販売価格安 | 9 技術力不足 |
| 10 後継者問題 | 11 人手不足 | 12 人件費増加 |
| 13 その他() | | |

(5) 人材の確保及び育成についてお尋ねします。

A. 貴社が必要としている(不足している)人材はどのような人材ですか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 研究, 設計	2 生産管理	3 販売, 営業	4 情報技術
5 人事, 労務管理	6 財務, 経理	7 法律, 税務	8 知的財産権
9 特にない	10 その他()		

B. 人材の確保に向けてどのような取組を行っていますか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 中途採用	2 新卒採用	3 高齢者の積極的な雇用
4 女性の積極的な雇用	5 派遣労働者の活用	6 パート・アルバイトの活用
7 自社の他部門からの配置換え	8 特に取り組んでいない	9 その他()

C. 人材の育成に向けてどのような取組を行っていますか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 計画的なOJT	2 自己啓発に対する支援	3 OffJT	4 ジョブローテーション
5 特に行っていない	6 その他()		

D. 人材の確保及び育成を行う上でどのような課題がありますか。該当するものを下記から選び、○印をお付けください。(複数回答可)

1 時間や資金に制約がある	2 教育訓練のノウハウ不足
3 職業能力開発のための支援策の情報不足	4 新規雇用したいが募集しても応募がない
5 育成しても辞めていく	6 その他()

【解説】

○ OJT(オンザジョブトレーニング)

実際に仕事をしながら仕事を覚えていく訓練(教育)のことを指す。

○ 自己啓発に対する支援

従業員の自助努力による能力の向上に対する取組への支援のことで、通信教育の受講や資格取得への支援、社外研究機関の紹介などを指す。

○ OffJT(オフザジョブトレーニング)

仕事の場を離れた訓練(教育)であり、研修等の実施等の訓練(教育)のことを指す。

○ ジョブローテーション

社員に多くの仕事を経験させるため、人材育成計画に基づいて、定期的に職務の異動を行うことを指す。

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしく願い致します)